新京日日新聞
夕刊
十月二十四日

米、加の禁輸に對處　産銅奬勵金を交付

來年度豫算に　五十萬圓を新規要求

最近米國及びカナダからの銅禁輸がしきりに傳へられ日滿兩國は目下これに對處する萬全の策を講じつゝあるが經濟部では現下の銅の重要性に鑑み國内産銅の増産を圖るべくその一助として産銅奬勵金の交付を考慮し明年度新規要求豫算として約五十萬圓を要求することになつた、卽ち國内産銅については明年度以降三ケ年に亘る増産計畫を樹立すべくその基礎資料を得るため本月中旬以來經濟部及び鑛政の共同調査隊が天寶山石咀子、馬鹿溝等中南滿にわたり十餘の銅山の調査に赴いてゐるがその歸來を俟つて産銅計畫の具體化を圖ると共に産銅奬勵規則の制定に着手することゝなつてゐる、産銅奬勵金は從來合金銅奬勵金として金と共に交付されてゐるが銅増産の見地から新たに産銅奬勵金制度を設けることゝなつたものである、なほ滿洲の銅山は概ね鐵道より遠距離にあるためトラック輸送によつてゐること、資材不足のため採掘設備の不充分なこと等のため極めてコスト高であるが價格の引上げは不適當なので出鑛奬勵金或は運賃補助費の形で奬勵金を交付する方針で議を進めてゐる

鑛工業關係豫算

新規要求　三千數百萬圓計上

日滿伊同盟締結に伴ふ内外諸情勢の急變に對處し經濟部では特に愼重なる態度を持しつゝ明年度豫算の編成を急いでゐるが時局の要請する鑛工部門の擴充強化は必然的に鑛工司關係の新規豫算を尨大なものとし頭初鑛工司關係だけで新規要求額三千數百萬圓を計上するに至つた、しかるに明年度豫算の編成に當つては既に決定を見た編成方針に基き經濟部としても出來るだけ節減緊縮する建前なので右要求額に對しても今後相當の削減が加へられることは必至であり大體前年度を基準として最小限度の増額に止め月末までに主計處に廻附されることとならう

卽ち工務司關係においては水火力發電統合に伴ふ電氣科の擴充計畫並に中小工業へ對する積極的助成對策等が新規計畫として擧げられてゐるが更に鑛工、技術員關係の諸經費等を合算するときは優に二千萬圓に垂んとする多額に達するので目下關係各司科に置いて再檢討を加へつゝあるが何れの項目をとつて見ても東亞アウタルキーを目標とする統制經濟の強化に主眼が置かれてゐる點に鑑みこれが取捨選擇には極めて愼重なる態度が採られてゐる

鑛山司關係の新規要求一千二百萬圓は大體七百萬圓程度に壓縮され七年度の新規豫算九百三十九萬圓に比し二百餘萬圓の減少となる模樣である、このうち注目されるものは石炭増産並びに燃料科の擴充に要する經費二百萬圓及び産銅奬勵金五十萬圓等で鑛業事業費としては産金奬勵金約四百萬圓が豫定されてゐる

金融統制業務更に一段强化

中央銀行　機構改革案成る

中央銀行では國内經濟界の發展に伴ふ同行業務の膨脹に對處して行務機構の改革を行ふべく諸般の準備を進めてゐたところ經濟部の認可を得たので廿四日東上した大澤副總裁の歸任を俟つて直ちに實行することゝなつた、その内容は左の如くであるが、戰時經濟の運營が世界新情勢を映して極めて多事なる時中央銀行の金融統制業務の更に一段の强化が要請されてゐる折柄その動向は注目を惹いてゐる

一、從來考査課内に包含されてゐた資金統制業務を分離し各々獨立の課とする、考査課は首腦部のブレインとして行務全般に亘つて最高企畫の決定に參畫する、資金統制課は從來の資金統制係業務を繼承するが現下の資金統制の重要性に鑑み、特に之を獨立せしめるものである

二、業務課から普通銀行業務を引離し、中央銀行業務のみを殘し之と貯金部とを合體して新業務課を設け、以て專心中央銀行業務に從事せしめる

三、新たに監理課を設け普通銀行業務に當らせる

四、資金部より貯金部を分ち資金部には爲替業務を擔當せしめる

五、秘書課を秘書室と人事課に分ち、秘書室をして秘書業務に當らしめ、人事課は人事の更迭、行員の訓育等の仕事をなさしめる

拓北、拓南兩局

【東京發國通】廿三日の樞府審査委員會で外務省に南洋局新設の件とともに拓務省官制中改正の件が審議されたが右は拓務省に拓北局及び拓南局の兩局制設に伴ふもので拓北局は滿洲等の開拓民に關する事項を管掌するもので、又拓南局は南洋、南米等の拓殖民ならびに海外拓殖に關する事項を管掌する各專門局でこの二局の新設に伴ひ現在の拓殖調査部は發展的廢止となるが、その所管事項は合理的に各二局に統合されることになつてゐる

査委員會で審議中で樞府の御諮詢を經た上で來月早々實現を見ることになつた
同南洋局は二課より成り蘭印、マレー半島、ビルマ、泰國、佛印關係の事務を擔當し初代局長には前バタヴィア總領事齋藤音次氏が内定してゐる

興農會の設立早急要望さる

農産物の出荷促進、生産檢調査、生必品の配給に重大な役割を果す興農合作社最下部組織たる興農會の設立は各方面より至大の關心が寄せられてゐるが、二十日迄に合作社中央會に報告せられたる正式設立屆出は僅かに二千程度に過ぎず極めて悲觀的現狀にある然し中間的報告に於ては間島、吉林、通化、錦州、奉天、北安等で各縣の大半が實質的に組織化されてをり全滿においては優に二萬程度卽ち全滿豫想數の三割餘は事實上組織化されてゐるものと見られるが出荷及び生産檢調査は目下の急務でありこれに伴ひ興農會の實質的組織化は緊急なる問題であり興農會の組織如何は合作社自體の問題たるのみならず、滿洲農業政策にまで影響するの結果ともなるので官民一致による組織の促進が要望されてゐる

對日石油禁輸

バ次官答辯を濁す

【ロンドン廿三日發國通】日蘭會談の進行に伴ひ、石油問題につきイギリスはアメリカと共に對日禁輸政策を種々考究しつゝありと傳へられるが廿三日イギリス下院においてイギリスの石油政策問題につき議員側から
政府はイギリス石油會社の對日石油賣渡しを禁止する旨催約し得るか
との質問が出たのに對しバトラー次官は表面からこれを答辯することを回避し
英米兩國は日蘭の石油交渉については蘭印政府から逐次報告を受けてゐる
とのみ答へ更に
政府は英米兩國が結局日本側に石油輸出を禁止することを意識してゐないのか
との質問に對し
蘭印の主權は英米になくオランダ政府にある、又イギリス石油會社所在地は何處にあるか、これを愼重に考慮しなければならぬと答辯した

ソ聯兵不法越境

二十二日午後三時半頃滿ソ東部國境東寧縣三岔口正面國境線よりソ聯兵四名が滿洲國領内に百五十米不法越境し烏蛇溝河岸一帶を偵察し引揚げた

米穀管理規則

【東京發國通】食糧確保の見地から農林省では本年度産米に對し農家の自家保有米を除く全販賣米を國家管理に置くべく過般來準備を進めてゐたがいよいよ廿四日米穀管理規則を公布十一月一日より實施することゝなつた、これが要點は

一、本年度産米中農家において消費する自家用飯米を除き他は全部國家管理として政府の管理下に置く

一、農家の自家保有米標準數量は東北（北海道を含む）關東、北陸、東海、近畿、中國、四國、九州の七ブロック別に一消費單位當り標準消費高を算定し、これを基礎として年齡別一人當り消費高を決定、當該家族の構成人員に應じ算出せる一ケ年分の數量を保有米とする

一、各道府縣の一消費單位當り標準消費高は昭和十二、十三、十四の三ケ年における農家飯米消費高より算出せる一消費單位當り消費高の三ケ年平均を基準とし、これに全國平均の一消費單位當り消費高および各地方の事情を參酌して定める

一、種籾および餅米は保有米の計算より除く

一、米作に從事する十五歳以上の者は地方事情により男子三割、女子一割までの増額をなす

一、味噌、醬油、甘酒等に使用するため一家族一年分所用量の一部を追加する

一、管理米たる米穀に對しては管理米證印を押捺し地方長官の指示により指定倉庫において保管するかまたは所有者に荷託する

一、本規則は沖繩縣には適用しないものであり右米穀管理實施要綱は廿三日農林省より各地方長官に對し通牒を發したが、今後なほ府縣別の具體的割當數量決定までには若干の時日を要するので決定前においても管理米の一部として便宜供出するやう指導方を通達した

南米諸國の再軍備援助

米海軍長官談

【ワシントン廿三日發國通】廿三日の海軍省會見では比島その他太平洋諸島の防備問題に質問が集中されたがノックス海軍長官はこれに答へつゝ米海軍當面の諸問題について次の如く語つた

米海軍としては太平洋における米領諸島に米國々旗が掲げられる限りこれが防備に當ることは當然である、さらに米國は南米諸國の再軍備を援助する用意を有するのである、なほ米海軍は目下のところ軍艦をオーストラリヤまたはシンガポールに派遣する意向はない

參戰問題討議か

獨、西首腦重大會見

【リスボン廿四日發國通】スペインよりの情報によればヒトラー總統とフランコ統領はそれぞれリッベントロップ、スネル兩外相を帶同しフランス、スペイン國境の列車内で廿三日午後四時十五分から同六時十五分まで正味二時間にわたつて重大會見を行つた、會見後ヒトラー總統はフランス領内に、フランコ統領はスペイン領内にそれぞれ晩餐のため歸還したが、兩巨頭は同夜再び會見の豫定である、會談内容は未だ詳かにされてゐないが一般に對英戰におけるスペインの役割ならびに歐洲新秩序の問題が討議されたものと信ぜられてゐる【寫眞はヒトラー總統（上）とフランコ統領】

對佛會談嚴秘

獨當局沈默を守る

【ベルリン廿三日發國通】ヒトラー、ラヴアル會談については廿三日の獨各紙は單に佛某地で會見が行はれると報道してゐるのみで全然批評を加へず會見の内容は完全に秘密に附されてゐる、また廿三日の外務省の記者團會見でも質問續出したが當局は會見の目的については何も云へぬ、會見の場所もフランス内と云ふだけで正確なことは發表出來ない、内容について勝手な臆測を加へることは現にわが國が戰爭遂行の過程にある以上政治的スパイ行爲として取扱はざるを得ない
と却つて當局スポークスマンから記者團に警告が發せられた程で獨官邊は從來にない嚴重な態度を持してゐる

ゲーリング元帥オランダ視察

【ベルリン廿三日發國通】ゲーリング元帥は親しく陣頭に立つて獨空軍の英國攻撃の指揮に當つてゐるが、最近オランダへ短期間の視察旅行を行つた
元帥は右旅行により種々の防空方法の效果、特に航空機による上空よりの防禦及び地上よりの防禦の效果を檢討し確信を得たと稱してゐる
また元帥はオランダ軍の整備とドイツ、オランダ兩軍の機械による偉功に滿足の意を表してゐる

倫敦晝間爆撃

【ベルリン廿三日發國通】ドイツ軍司令部發表＝わが攻撃機隊は廿三日も引續きロンドンその他の重要軍事目標に對して晝間爆撃を敢行し夜に入つてもロンドンおよび軍需工業中心地を攻撃コベントリー、バーミンガムの重要軍事施設を爆破した

伊空軍ポ港爆撃

【ローマ廿三日發國通】イタリー軍司令部は廿三日イタリー空軍爆撃機隊がスエズ運河の入口ポートサイド港を爆撃した旨發表した、因みに同港爆撃は今次開戰以來最初のものである

比島防衛協議

【マニラ廿三日發國通】セイヤー比律賓高等辨務官は廿三日ケソン大統領と近く歸國する比米陸海軍司令官を招致して重要會談を行つた、會議の内容に關しては何等發表されないが現下の極東新情勢に對應しフイリツピン防衛問題ならびに準戰時體制に處する諸政策につき協議を遂げたものと見られる、なほ廿一日上海より到着したハート米アジア艦隊司令長官ならびにケソン大統領を夫々訪問意見の交換を遂げた【寫眞はセ高等辨務官】

佛印國境に塹壕

【バンコック廿三日發國通】泰國有力紙タイ・マイの報ずるところによれば佛印當局は泰國東南部のチャンタブリ州の國境に近いバイリン地方に約一千の安南兵を送り國境線に沿つて盛んに塹壕を掘りバリケードを構築してゐる、またコー・コン島に砲艦三隻水雷艇五隻及び潛水艇より成る艦隊を集結せしめ海岸一帶を哨戒してゐるといはれる

カンボヂヤ叛亂

【バンコック廿三日發國通】泰佛印國境方面における不安は依然として解消されずノンカイおよびナコンパーン對岸からラオス住民は泰國軍隊が近くメコン河を越えて佛印内に侵入して來るとの噂に脅えて山岳地帶に逃込み、また佛人の軍人官吏は家族を河内、西貢に引揚げさせ警戒を嚴にしてゐる、一方佛印軍隊における安南兵の厭戰氣分は日毎に濃化し佛印軍當局は極度に安南兵の反亂を怖れてゐるといはれるが、シリ・クルング紙の報道によれば安南北部に黑旗と呼ぶ秘密結社が盛んに活躍し安南王保大が王位に就いた當時佛印當局に反旗を飜へし革命を起して逮捕された一味の殘黨が秘かに同志を糾合し安南と東京の境界附近で再び安南獨立革命を企圖してゐるといはれる
【バンコック廿三日發國通】最近泰國では佛印軍隊における安南兵の叛亂計畫の暴露がしきりに報へられつゝあるが廿三日の泰國有力紙は最近安南兵とカンボヂア住民が暴動を起し同地方のモロッコ兵と衝突し双方とも多數の死傷者を出した、叛亂軍は一時カンボヂアの首府プノム・ペンの重要政府機關を占領したと報導してゐる

全滿正副市長會議

政府は來る十一月一日より實施の市機構への警察廳統合問題の趣旨の徹底を圖り併せて現下の重要問題たる國民組織問題につき全滿十八市の日系正副市長と協議懇談をなすため來る廿九、卅の兩日午前九時より奉天市興亞會館において日系市長、副市長懇談會を開催することゝなつた、出席者は中央側より
松木總務廳次長、菅地方處長金澤行政科長、新川交通部參事官、近藤都邑計畫司監理科長、中西民生部厚生科長、早野政總局保險于保護科長、山田建築局總務處長
の外治安部、經濟部、企畫處の各關係官、地方側よりは正副市長（日系）十八名ならびに奉天、濱江、吉林、龍江、三江、錦州、安東、興安北、牡丹江の九省より關係官がそれぞれ一名出席、議題は左の通りである

一、市及警察廳統合問題
二、市諮議會の檢討
三、住宅行政について
四、公立醫院について
五、市の下部機構問題
六、其の他

アメリカの屑鐵禁輸

ルーズベルト米大統領は去る九月二十六日、十月十六日以後に於ける屑鐵の對日禁輸を命じた【寫眞はポートランド波止場に空しく堆積されたまゝの屑鐵（上）ポートランド市街で對日屑鐵禁止のデモを行ふ在米支那人兒童】

南洋局來月早々設置實現

【東京發國通】東亞共榮圈の確立と南進政策實現のため外務省に南洋局を設置することになり同官制案は目下樞府審

慘！獨空軍猛爆の跡

ロンドン、ウエストエンド繁華街の中心オックスフオード通の慘たる獨空軍猛爆の跡

我等かく鬪へり　五

ペスト防疫戰線報告記

死線を越えて

血みどろの忍苦！遮斷區の人々

慶突として全國都を襲つた怖るべきペストの嵐は、四十五萬市民の簡潔的生活をして極度の緊迫感に追突上げ街に巷に數々の超人的防疫風景が展げられたが、それ等の中でも最も悲惨深刻な面場を展開したのは言ふ迄もなく危險地區として遮斷された住民達であつた、授魔防遏策の骨幹として圖らずも外部との接觸を斷たれた之等の市民はこの牢獄にも等しい限定された地域内で二旬餘に亘る血みどろな死鬪を續けて來たのだ、悲痛と言はんか凄慘と言はんか！その内面的彼等の苦悶に至つては到底筆舌に盡し得る可き性質のものではない、然しこの一部市民の死に勝る忍苦があつたればこそ、吾々四十五萬市民は怖るべき死魔の猖獗を抑制することが出來得たのだ、幸ひにしてペストの觸手から逃れ得た全市民は永久に之等少數の人達の尊い犧牲を忘れてはならない

◇

ペスト發生と同時に荒縄で遮斷された之等の人々は今迄且て經驗もしなかつた別社會的な生活の中に不斷明王の如く毅然と起上つたのだ、右手に醫す不動の利劍は疫魔剿伏の決死的意慾を現し左手に持つ緊索は隣保共愛の一致團結を意味するのだ、かくして彼等隔離者の涙ぐましい活動が始つた物資の配給、清掃、消毒慰安、郵便物の配布、外部との連絡、立哨警戒と總ゆる部面に亘つて美しい協力體制は完成され自立自營の精神は普く全住民に滲透して平時にかける數倍の能率を納め得たのである、日滿兩國を通して國民再組織の問題が喧ましく叫ばれてゐる折柄その基本的要素たる隣保共愛の眞の姿が之等遮斷民が如實に示したとするならば今次のペスト禍こそ戰時下國都市民に下した天の試練とも考へられやう、而もその試練はこの選ばれたる市民等に依つて輝かしい成績を收め得たのである

◇

之等遮斷民の指導中核體として常に第一線に立つて奮鬪した人は義勇奉公隊員である、身を忘れ家を省みず彼等は自ら選んで不幸な隔離者の手足となり下僕と迄なつて不眠不休の努力を重ねて來たのだ、入船町二、三丁目の一部、梅ケ枝町三、四丁目の一部、室町、祝町四丁目、日本橋通の一部―卽ち南廣場面に入船兩遮斷區域にかける之等義勇奉公隊百餘名は天々町會乃至は隔絶本部の構成員として物資の配給から更に採集期におけるストーブ、燃炭の所要量の調査乃至は大掃除の衛生に至る迄文字通り献身的に働いてゐるのである

殊に入船地區に於ては隣町二丁目の白楊社、隔絶本部として田中幸平氏を中心とする約十五名の本部員は地區を八班に分つて食料物資の合理的配給を期す一方更に進んで物資の共同購入を行ひ公定價格を以て之を地區内住民に販賣する消費組合化をさへ實現した、この一事を以てしても、遮斷地區住民が如何に隣保共愛の美しい精神の上に生きてゐるかを思ひ知ることが出來るであらう

◇

「滿系細民七百の生活を如何にするか」の大きい問題を提供した十月五日の興連路の遮斷に際しては當局の「考慮する」の申出を斷然謝絶して起上つた日系町會幹部は「全財産を擲つても町内のことは町會で處理したい」旨を聲明し今次の防疫史上に燦然と輝く〃民族協和〃の一頁を加へた而〃斯うした佳話美談は遮斷區域住民を中心として隨所に織出され尨大なる理論體系をもつ總ゆる實踐理念は恰も日常茶飯事の如くいと容易に行はれたのである、これは國都四十五萬市民の心の中に潜む力強い對時局認識を最も端的に表書きしたものであると共に今次のペスト禍を通して得た市民の最も尊い體驗であつたのである

◇

圖らずも私の町會からペスト患者を出しまして皆樣方をお騷せ致しましたことは何ともお詫びの申上げやうがございません、それにも拘らず軍官民一致の有難い御助力に依りまして幸ひペストに對する將來の見透しが着く處まで參りました、これも總て皆樣方の御盡力の賜でありまして私達遮斷民は只々泣いてお禮を申上げるより外ない次第でございます
入船町會長淺井出一郎氏を電話で慰問すると氏は熱涙溢るる言葉で幾度もこのことを繰返した、ペスト發生以來遮斷民の父として仰がれた淺井氏の最大の懸念は實にこの點に在つたのである、之は淺井氏に言はれる迄もなく今後における吾々市民の最も考慮すべきことではないであらうか

◇

ませるやうなことはしたくないと思ひます、慰問金や慰問品を寄せて戴いたその皆樣の御厚意を更に今後の私達隔離者の上に迄伸べて戴きたいとそれがばかりお願ひ致します
言葉だけではない、衷心よりの感謝は膨々の涙になつて電線を記者の耳に迄傳つて來るのだ

◇

たゞ何よりも氣掛りなのは解除後の遮斷民達のことです、この上共全市の方々の御理解を得て彼等に氣まづい思ひをさせたくないと考へるのです、殊に學校等に通つてゐる子供達には充分この點に注意して戴いて何も分らない子供の心をひがませるやうなことはしたくないと思ひます

突如として起つた不可抗的災害のために身の進退を奪はれ家を焼かれて終日終夜疫魔と闘ひ續けて來た之等遮斷民に對して吾々市民は如何にして解除後の差別的待遇を行ふ者が有り非人的態度が採られるであらうか？吾々を齊しく黑死病の苦患から救はんとして身を犧牲にせられた一部の人々に對して若し一人でもそのやうな氣持を抱くものがあつたとすれば吾々は吾々自身の手で制裁を加へねばならない、それこそ四十五萬市民が遮斷民の大いなる犧牲の萬分の一に對して酬い得ることの出來る唯一の途なのである（この稿終り）

大澤中銀副總裁東上

中銀副總裁大澤菊太郎氏は二十四日午前八時の日滿定期航空便で東上したが出發を前にして次の如く語つた
大政翼贊會の發足、日獨伊同盟の締結、全國金融協議會の結成などを契機として日本の金融界經濟界は色々と變りつゝあるらしいが、之等に直接接觸して諸般に對する正しい認識を得て來たいと思つてゐる、十一月の國債金調達は既に新聞紙上に報道された所であるから今度の旅行とは關係ないが、然し年末を控へてゐるので年末資金につき日銀との間に豫め諒解を遂げ遺憾なきを期したい、滿洲では中銀、興業銀及び正金を除くと日本の樣な大銀行がないのだから日本の金融協議會のやうなものを作る必要はないと思ふ、要は中銀、興銀及び正金がお互ひ私心を去り協力一致して國策遂行に邁進すればいゝのであつて業務上の摩擦や預金爭ひなどすでに過去の時代のものである、今は誰も自我を棄て滅私の精神を以て東亞新秩序建設の一翼を擔ふ氣持で働かねばならぬ、その意味で今後は從來以上に興銀、正金と緊密に連絡し一般銀行は一致協力して結びついてゆきたい、もしも小さくこれから成長してもらはねばならないのだから、中銀の方針に反して恐らくな自由を行つたり不當な利子を徴收するものは別として變な束縛はしない方がよいと思ふ、中銀の機構改革は最近經濟部の認可があつたから歸來したらたゞちに實行に着手したい

劉軍長爆死

【南昌廿三日發國通】去る十五日敢行されたわが空軍の李家渡（南昌東南方六十キロ）爆撃により敵第四十九集團軍司令部は完全に爆碎され、軍長劉多荃はこの爆撃で爆死を遂げたことがこの程投降し來つた敵兵の證言により判明するに至つた

國民協力會議部々長内定

【東京發國通】大政翼贊會事務局國民協力會議部の本部長には末次大將の推薦により代議士中原謹司氏、部長秘書には鈴木憲一氏が就任することに内定した

建川大使露都着

【モスクワ廿三日發國通】建川新駐ソ大使は廿三日モスクワに到着した

人事往來

着京

△照井長次郎氏（大連特産物對日輸出組合理事）廿四日東京ヤマトホテル
△金森伸氏（朝鮮森伸運輸取締）同第一ホテル
△秋本喜一氏（滿鮮拓殖社員）同
△秋月安太郎氏（大連漁業）同帝都ホテル
△齋藤安治郎氏（蒙疆銀行）同櫻ホテル本館
△早川勝助氏（東安省密山縣醫師）同松屋ホテル

出發

△細野芳彦氏　哈市へ
△植田幸太郎氏　吉林へ
△田川初雄氏　錦州へ

日々タワゴト

すべての商品に價格が…され、購買者には…利となら…
ただ中には具合の悪いなどもあらうが、それは一致で行くさ
×
ガソリン節約の折、歩調が叫ばれる際、バスは巧な値上げの坂へ
×
オーライ、ストップのステップ令もこゝにだけは效かつたと見えるテ

娯楽

新映畫紹介　熱砂の誓ひ

東寶大陸三部作の最終篇、前後の二篇に分れてゐる大作である、例の如く長谷川一夫と李香蘭の戀愛が絡む北京より庫倫大道路開通の國策的物語である、長谷川一夫は江川宇禮男の弟に扮する土木技師、李香蘭は北京洋學者の娘で日本に聲樂勉強に來てゐる李芳梅に扮する、抵抗[illegible]に出演した中華スター王洋が次いで土地の豪族で共産匪に心を寄せる王高福の娘王月琴に出演するが「支那の夜」でひどい惡評を浴びた東寶が、題名から内容からさんざんの改訂を命じられた「熱砂の誓ひ」であるだけに一體どんなものが出來るか、原作演出ともに渡邊邦男である、音樂は古賀政男が擔當してゐる（カットは王洋と李香蘭）

新體制演藝語る　花菱アチャコ　笑ひの蔭に惱あり

漫才にも指導性　笑ひの隙に新體制を

大新ホテルに花菱アチャコ氏を訪れる、帝都キネマの舞臺に三龍松、今男氏とさんざお客を笑はせてはゐるが新體制下の秋、惱み深いものがありはしないだらうか「アチャコです、どうぞよろしう」と下げた頭髮も幾分薄かつた、所が話してみると中々に元氣である、恰幅のいゝ體軀に童顔をのせて、眉を上げたり下げたりの御馴染みの表情で語るのだ

☆……新京　へは三度目だと言ふ、もつとも長春時代、慰問團の一員に加つての前線踏境を公演して廻つたのださうである「まつたく、えらいちがひですね、あの頃はこの邊何もなかつた」

とアチャコ氏は云つた、話つぷりが例の漫才口調で甚だ愉快である、新體制下の難しい話になると

「つまり、この、なんですな、われわれ、笑はす藝人は、その、つまり…」

と言つた調子である、眉を上げたり下げたりする

「難かしくなりましたね…」

と言ふと

「えゝ」

例の如く眉をすぼめて、眼をぱちくりした

「つまり、笑はせ過ぎたらあかん、指導性をもて、ちうのですからな、難かしい話です

お、何しろ何年もの間笑はせよう笑はせようとかゝつて來たわたしらですからな」

「成程」

「わたしらの吉本でも何遍も會議ひらきましてな、その吉本自肅演藝隊つて名前で、まあちぢこまつてしもたらあかん、萎縮したら駄目や、健全明朗な笑ひを振りまいたろ、つて事にしましたんや」

☆……所が　どうも萎縮せざるを得ないと言ふ、同僚の川田義男率ゐるミルクブラザーズの全員も、新體制下だとあつて盛んに新しいアイデアを考へ出し、以前とは面目一新して公演してゐます」

といふ

「うけてゐますか？」

と訊ねると

「それが駄目ですね、さつぱりや、以前と違つて、たいへん、受けません」

困つた話である

「柳家金語樓なんかどんな覺悟してます？」

「まあ、金語樓氏（氏、とアチャコ氏は言つた）は利口な人で獨立するとか何とか内地の新聞にもデマが飛んでますが何と云つても落語の本當の意味、つまり本當の洒落などは今時の若い人らには判りません、劇團を作りまして、それぞ、四十人位居ります、それを率ゐて新しくやつて行くんでしよ、金語樓劇團、矢つ張り吉本の傘下です」

唄の方では淡谷のり子なとは餘りセンチにならない限りいいさうだが、笠置シズ子となるともういけないと言ふ、レコード會社でもびくびくもので軍歌ばかり

「あきまへんな、みんな、そやけど私に言はせると、つまり笑はせて構はんと思ふ、大切なのは締くゝりですな、人間ちふものは笑ふと隙が出來る、その隙をねらつてビシビシと日本の新體制の覺悟が吹き込む、之は花菱アチャコ新體制下の覺悟です」と

☆……廣い　肩幅を椅子の背に擴げてみせた

「成程、萎縮したら何にもならない譯ですな…所でエンタツ、三龍松さん等と一緒の〃明朗五人男〃あれはどゝです」

「先づ、十中八九あきません、何しろ笑はせ過ぎたんですわ、何しろ一時間位のフイルムがカットされて映寫すると四十分」

「三分の一！」

「さよう、てんでばらばらや筋がめちやくちやです、結局檢閲も駄目やろと思てますがね…大變な話ですわ」

成程大變な話である、檢閲強化で諸々の演藝の立直しが命ぜられた中に、ボーイズものを始めアチャコ氏等その打擊の最大たるものに違ひない

「新京のお客さんは？」

と聞くと、言下に

「よろしいですなア…」

と言ひ切つた

「つまり、辛いとこチヤンと聞いて呉れます、手が鳴らんのぢやない、鳴らして藝人の聲の消えるのが惜しい、そんな風ですな、いらんとこで手が鳴ると、ことに漫才の私等なんか間が拔けて困ります、まあ出だしに、私等が顔を舞臺に出す、とたんにパチパチえゝ氣持ですな、藝人をおだてるには之が一番ですな」

新京を終へると、吉林に一日、次いで朝鮮、京城に三日、釜山に寄り廣島によつて大阪へ歸る豫定らしい、戸外は珍らしく雨が降つてゐる、四時過ぎである、帝キネの舞臺も迫つてゐるので腰を上げると

「陸軍病院へ今のさき慰問に行いて來ました、あゝ言ふとこでは力一杯やる氣になりますな、今晩は放送、忙しい忙しい」

と太い體をのびをする際にのばして立ち上つた

「元氣でどうか」

頭を下げると

「大丈夫です、新體制にはアチャコの覺悟で頑張ります」

よく寫るカメラ

トンコ

佐山君はインテリであり、且つ世話好きな熱血漢であつた、だから勤務先では若い仲間のリーダーであり、家へ歸ればまだ年が若いのに町會の役員をしてゐた

さてこの佐山君の住んでゐる家の近くに不幸にもペストが發生した、當然佐山君の家も交通遮斷區域に入つたのである

インテリを以て任じてゐる佐山君にしてみれば新聞や雜誌が讀めないことは凡そ悲痛な出來事である、而も各家庭の聲を聞くに食料品や日用品の供給の心配である、こりや何とかせんといかんと直ちに町會役員とはかつて遮斷地區配給本部を設置、各方面と交渉の結果は上乘であらゆる品物は市民の同情も集つて普通の時よりも圓滑に行渡ることになつた

しかもそれから十數日は防疫に大掃除に發生家屋燒却に佐山君の活躍は不眠不休、遮斷地區内の感謝の的となつた

しかしながら彼氏も不死身で無い、ある夜疲勞を覺えたので今夜は休ましてもらひますと發生以來滿足に寢たことのない身を自宅の床に伸べて休養した

ラヂオのスウイッチを入れた、電波だけは遮斷されずにちやんと入つてくる、恰も靖國神社臨時大祭最終日で奉納演藝が流れ込んできてゐる、昔々亭桃太郎の「箱根山」である、殷賑産業で高給取となつた職工夫妻が子供を連れて箱根の溫泉へ行かうといふのである、色々準備をしてゐるのだが何しろ付燒刃の急ごしらへだから盛に笑ひをまいてゐる、一流の紳士らしくカメラを買つてくる「おや〳〵、寫眞うつすこと、お前さん知つてゐるのかい」

「知つてゐやうが知つてゐまいがもつてゐないと恰好がつかん、一寸古いが何でもベストといふのださうだ」

「おや氣味の惡い名だね、それではさぞかしよくうつることだらうね」

トタンに佐山君は連日の疲勞が一度に出てウーンとのびてしまつたのである（水町啓志）

映畫・演劇・音樂檢閲指導へ　情報局乘出す

内閣情報部の機構擴大が決定したが、この結果情報局第四部（檢閲）は從來内務省が行つてゐた映畫檢閲を一般出版物や新聞と同樣内務省と共同の檢閲すると共に演劇、音樂等の檢閲に乘出すため映畫、演劇、音樂の檢閲擔當專任官が置かれる豫定である

そして檢閲事務は原則として情報部内で行はれるが映畫檢閲のみは當分の間情報部映畫擔當官が内務省に出張して行ふ事となる模樣でこの外同局第五部（文化）内に映畫、演劇、音樂等の指導專任官が置かれるこれは從來各省が分立して行つてゐた文化指導を統一し第四部の檢閲と睨み合せて國民文化向上のため活躍するもので、將來國策遂行に最有力武器となる啓發宣傳映畫はこの第五部で製作される事になつてゐる

製作制限に　官民意見交換へ

明年よりの劇映畫製作制限に備へ各映畫會社は愼重に對策を檢討中であるが、官民の忌憚なき意見交換が必要とあつて、十五日午後五時半、文相官邸に官民懇談會を開催、文部省側より橋田文相、田中社會教育局長、小田映畫課長、中村事務官、不破、松浦、三橋、桑本社會教育官、中田技師他關係官が出席、業者側よりは城戸四郎（松竹）岡庄五（日活）植村泰二、大橋武雄（東寶映畫）瀧澤秀雄（東寶）河合龍齋（大都）川喜多長政（東和商事）の諸氏出席して意見の交換を行つた

スタヂオ便り

▼……新興の短篇「突貫橫丁」上る　新興東京は東京市企畫に成る納稅思想普及の三千呎の短篇映畫「突貫橫丁」を菊池延行原作、西山五郎脚色、鷲田誠撮影、三井章正、岩田芳枝、瀧野光一、大原穰主演で完成した

★

▼……「まごころ親爺」配役決定　東寶吉本協同作品「まごころ親爺」（假題）は東寶京都で氷室徹平製作、山崎謙太原作脚色、飯田潤一演出、安本淳撮影により左の配役で一兩日中に開始される、柳金兵衞（金語樓）息子金一（齋藤英雄）娘とし子（若原春江）君代（堤眞佐子）君代の母（水町庸子）竹田（昔々亭桃太郎）地主（林寛）近所のおかみさん（清川虹子、谷崎歳子）

★

日活の「風の又三郎」は片山明彥の外に東寶の子供連中が大勢出てゐる、島監督も最初は皆が折りあへるかと心配してゐたが、撮影二三日目からはもう東寶連が「兄貴々々」と片山を立てて出した、片山もいゝ氣持で皆をリード、無事にすんださうである

文化映畫紹介

……東寶文化映畫シリーズ…

演出……野田眞吉
撮影……玉井正夫
錄音……前田照朗
音樂……平田照章
解說……中村伸郎
指導……遞信省

南の涯から北の涯へ、都會から山間の僻地へそして絕海の孤島へも、と私達の手先に屆けられる郵便物、然も正確迅速に屆けられる郵便物、私達はこの屆けられるまでの郵便物に、一度なりと細い眼を向けたことがあるだらうか、餘りにもその職務が完璧に遂行されてゐる時、私達はその人々の勞苦を忘れがちである、映畫は默々謙虛な郵便從業員と郵便物の配達迄の過程を丁寧に描いたものである

▼▲

雜音

ペスト禍で市内各映畫館も御難を蒙つたものの一つ、十三日休館しての一週間の休み、二十一日開館すると翌日からは歡樂街の自肅で日曜祭日にかゝはらず午後一時開映と決る、次いで翌日は又も鼠驅滅の大掃除で午後四時開館▼アトラクションとしては上乘の三龍松、アチャコの一行を擁してゐる帝キネなども初日はペストに脅へてか客足悪く、二日目は午後四時で之も半分、滿足な興行は先づ今日一日といつた具合である▼長春座も封切映畫にセルビアン・ショウのアトラクション、普通ならば相當の入りを見せる所を場内まばらな入りで、ショウ一行のマネージャー・ペトロフ氏〃ペスト、イケマセン、オ客サンコワガルタメテス〃と怪異な容貌でベソをかいてゐる▼それでも各館支配人、不服を言ふ所ぢやありません、家を燒かれた人もあります、とばかりにぢつと堪へ忍んで館内の消毒にも清潔にと時節がら高い消毒藥を買ひ込んだりして張り切つてゐる

鉛　對日供給可能

國內の增產積極化

＝來年度は二倍に增大＝

經濟統制機構の確立に際し日滿支經濟資源の積極的增產が要請されつゝある折柄、滿洲における鉛鑛の開發は滿洲鑛山會社を始めとする關係諸會社の積極的增產によつて本年度は國內鉛需要に對し略完全なる自給の域に達した、來年度においては滿鐵、滿化、滿洲電線等の大口需要を始めとし國內鉛需要は可成りの增加を豫想されるが滿洲鑛山青城子鑛業所並に滿洲鉛鑛楊家杖子鑛業所等有望各鑛山の本格的稼行に加へて鑛業開發會社奉天精錬所は本年十月末を以て完成豫定の鉛電解裝置が明春よりフルに稼行するので、明年度に於ける國內鉛生產高は本年度の約二倍に增大する豫定でありそのうち相當量の對日供給が計畫されてゐるが、來年度全生產額より需要增を差引いてもなほ三〇%程度の對日供給は確實と見られてをり日獨伊樞軸強化を契機とせる第三國よりの輸入杜絕に對應して日本內地の鉛需給にも可成りの效果を及ぼすものと頗る期待されてゐる

國內自給を目指し　履物生產組合結成

全滿廿三工場動員

全滿における履物生產は新京、奉天、安東等の主要廿數工場において年產製造能力千二百萬足のうち約六百餘萬足の生產を行ひ高級品を除き大體國內自給を行ひつゝあるが、國內需要の急增及資材入手難を反映、輸入の增大が見込まれる懸念が濃厚となりひいては生活必需品たる履物の品難を助長する情勢となつて來たため、今回全滿履物製造業者は輸入防遏、業者保護、安價供給を目的とする滿洲履物生產統制組合を組成することゝなり當局に認可申請の手續きをとることゝなつた、同組合は全滿履物工場廿三工場を會員とし、國內自給自足を目標とし、生產資材の輸入供給を一元的に行ひ價格の適正化を圖ると共に配給機構の有機的運營を圖らんとするものである

中小商工業者　轉業對策決定

【東京經國通】政府は高度國防國家建設方策遂行に當り戰時國民生活の確立を期するを眼目として先般來經濟閣僚懇談會を開き應急對策として中小商工業轉業對策を檢討してきたが

一、轉業相談のため國民職業の指導所

一、轉業者基本訓練のための國民勤勞訓練所

一、負債および財產整理などのための國民厚生金庫設置

の三具體案を樹てさらに企畫院で細目の檢討を加へた上廿二日の定例閣議で正式に決定した

△歲出　經常部　二八、六三〇　臨時部　一〇、一四六　計　二八、七七六

一、歲入　經常部においては租稅收入の一千四百七十三萬五千圓が首位を占め七年度現行豫算に比すれば三十八萬餘圓の增加を見、負擔金及納金が九十九萬五千圓で七年度の半額に達しないのは日本人小學校費、警察費、土木費の各省地方費に計上されず直接國庫に計上されることゝなつたためによるものである臨時部にあつては剩餘金の百九十五萬六千圓が七年度の五百四十二萬八千圓に比し著減したのは七年度における歲出繼續費の繰越等によるものである、國庫補助金は六十三萬三千圓、同收金は二十三萬七千圓、國庫補給金は九百二十三萬六千圓である

一、歲出　經常部においては警察費の八百八十九萬三千圓、交付金の五百十九萬六千圓等が主なるもの勸業費は六十三萬八千圓で七年度のこれが當該豫算編入改良場費、勸農模範場費三十四萬餘圓に比すると約三十萬圓の增額となつてゐる、臨時部においては土木事業費の二百七十二萬一千圓が大きく補助市縣費、警察費、產業開發費がこれについである、土木事業費は七年度の當初豫算に比すると僅に增額となつたがこの科目に新規增はなく產業開發費も七年度當初豫算に比較すれば經費增を見たが一般經費の增加によるものである

明年度奉天省　地方費豫算

康德八年度奉天省地方費一般會計豫算はこのほど集計を完了、廿一日中央に申請した、右豫算は地方財政緊縮の趣旨から極力これを壓縮總額二千八百七十七萬六千圓となり七年度當初豫算二千四百五十九萬二千圓に比し四百餘萬圓の增加を見たがこれは來年度より當省において實行する市縣財政の確立による市縣財政調整費の增額の結果で一般經費は前年度を大體踏襲、各科目に亘り新規增加を見なかつた（單位千圓）

△歲入　經常部　一六、七二三　臨時部　一二、〇五三　計　二八、七七六

洋灰クラフト紙禁輸空氣

當局萬全の對策

最近におけるカナダの對日滿感情の惡化で對日滿輸出禁止の空氣は洋灰クラフト紙にも及ばんとする懸念濃厚となり日滿を通じクラフト紙逼迫の際とてこれが影響は甚大とみられるので關係機關では萬一に對處し萬全の對策を樹立してゐる、カナダよりのクラフト紙の輸入はこゝ二、三年間に可成りの減少傾向を示しつゝあつたが而も尙現在滿洲のみについても年額約二千トンを輸入してゐるのでこれが供給杜絕は洋灰容器の逼迫に一段の拍車を加へるものであるが政府はかゝる事態に對處し洋灰紙袋の回收再生に萬全を期すと共に滿映工業終了せる特殊製紙吉林工場をして遲くも年內迄には事業に着手せしめ「特殊クラフト」の本格的製造に乘出さしめる意向である

全滿日本清酒輸入組合

全滿日本清酒輸入組合創立總會は廿一日午後各地方業者代表多數出席奉ビル七階で行はれた、日本酒の輸入、配給、價格の適正圓滑化等につき將來滿洲酒業部の外廓團體として活躍する筈

東拓社債發行

【東京經國通】興銀では第百六十三回東拓債券二千萬圓の發行條件を左の如く發表したが內五百萬圓はシ團總引とし殘額一千五百萬圓を市場公募する

一、發行總額二千萬圓

一、利率年四分三厘

一、發行價格　額面百圓につき百圓

一、償還方法及び期限　十二年、但し二ケ年間据置後前半年四十萬圓以上償還又は買入償却し期限まで完濟す

一、申込期間　十月二十五日より同月二十八日まで

一、拂込期限　十一月五日

一、募集の委託を受けたる會社　興銀（代表）鮮銀、第一、三井、三菱、安田、第百、住友、三和、日本信託證券、野村各銀行及び三井三菱、安田、住友各信託會社

地域別に適作品種

水稻の計畫的作付

米穀增產

滿洲における本年度水稻は八月一日現在の豫想に於て八十二萬六千餘トン五百八十萬石程度の收穫を見るものと豫想されたが八月一日以後に於て早霜の降霜あり、地方に於ては甚だしい被害を蒙る模樣で之が原因については作付品種如何に依るものと見られてゐる、即ち現在各地の適作品種としては

△安東　奉天を中心とする南滿に亀の尾、陸羽白川二號、農林一號、錦尾二號、熊一號

△間島　通化を中心としては公十號、錦江、青森五號、公六號

△三江、龍江、牡丹江を中心とする北滿に坊主六號、公六、八、九號、富國

△東北滿　走坊主、坊主六號、公九號

が夫々技術的考證により適品種として指定されたのであるが、晩手のものが大體收量が多きため北滿及び高地の早霜降霜地帶にも技術的忠告を無視して不適品種を栽培せる結果、本年度の降霜による被害を受けるに至つたもので興農部としては食糧問題殊に米穀の增產は緊急事たるに鑑みかゝる事態の再び起らざるやう本年度植付に於ては適地品種を指定し、水稻の計畫的植付を斷行することになり目下諸般の準備を進めてゐるが、各農家も水稻の植付に當つては政府の獎勵する適地品種を勵行するやう要望してゐる

主要農產物の　優良種子配布

水稻、大豆、小麥の增產は國內外の要請に基き緊急問題として取上げられて來たが、これが第一着手として興農部は種子の改良、更新を圖り優良種子の普及獎勵をなすことを先決問題として廿二日午前十時より興農部農產司長室に農事科長以下各技術關係者出席、優良種子の普及徹底、優良種子の生產の方針について協議を行つた、同方針の確定は增產に直接影響を及ぼすので直ちに農事共勵事業に即應し各興農會に共同採種圃を設置、二割程度の增產をなし得る種子を生產し優良種子の必要性を宣傳することゝなり右に基き優良種子普及獎勵の要綱案を作成する事になつた

線麻統制方針

增產、收買、配給に萬全

興農部訓令を示達

麻資源の重要性に鑑み現在增產途上にある線麻の生產確保收買及び圓滑なる配給を圖るため興農部では之が統制方針を協議中のところ、既に出廻期に入りたるため暫行的處理要綱を左の如く決定、興農部訓令第四四五號を以て新京特別市長、各省長宛示達した

一、線麻は原則として農產物交易場で出廻らしめ交易場にて生產檢査を行ふものとす

二、交易場に於ける線麻の買付は興農部大臣の指定したる業者又はその委託を受けたるものをしてなさしむるものとす

三、線麻を交易場に上場せざる縣旗に於ける買付は指定業者又はその委託を受けたるものをしてなさしむるものとす

四、線麻は縣旗地場消費量を除く外すべての指定業者又はその委託を受けたるものをして蒐荷せしめるものとす

五、指定業者の蒐荷したる線麻は政府の定むる計畫に基き之を配給するものとす

六、線麻の省外搬出は指定業者の名義を以てするに非ざれば之を爲し得ざるものとす

但し興農部大臣の許可を得たる場合は此の限りに非ず

△備考＝本年度春期に於て契約栽培を實施せる左記各社に對する線麻の配給はその契約を考慮し別に處置するものとす

東洋精麻加工、日滿紡麻、鐘ケ淵紡績、滿洲殖產工業

年末輸送打合會

冬期輸送繁忙期を控へて滿鐵鮮鐵及び鐵道省では來る廿八日から三日間に亘つて釜山において冬期輸送打合會を開催して早くも殺到を豫想される年末年始の旅客貨物の輸送對策につき協議する事となつた

商況　前場(廿四日)

海外經濟電報

倫敦金塊　一六八志〇〇
倫敦銀塊　二三片一六分七
同先物　二三片八分三
紐育銀塊　三四仙四分三

外國爲替

米英爲替　四弗〇二仙二分一
米日爲替　二三弗四七仙
米支爲替　六弗〇〇仙
英日爲替　一志二片二分一
英支爲替　三片三二分三

紐育株式

スチール株　六三弗八分三
アナコンダ株　二四弗〇

紐育棉花

現物	九仙九五
十二月限	九仙六〇
一月限	九仙五〇
三月限	九仙五八
五月限	九仙四八
七月限	九仙三〇
十月限	八仙九〇

印棉

ベンゴール　一九一留比二分一
オムラ　一六八留比四分三
ブローチ　一三七留比二分一

各地株式市況

東京株式(短期)

東新、新鐘、紡績、新東、新朝、新電、郵船、鑛業、新大、石油、立業、工業、電機、東電、日窒、滿鐵、日新、曹達 [figures illegible]

大阪株式(短期)

大新、新鐘、帝紡、日新、日魯、商船 [figures illegible]

大連株式(短期)

五品、大新、新東、鐘紡、滿業、同新、滿電、豆土、土木 [figures illegible]

各地商品市況

大阪綿布、大阪棉花、大阪期米、大阪人絹、橫濱生糸 [figures illegible]

商工公會の運營は統制經濟から計畫經濟への移行期にあつて、取上げられるべき問題である、商工公會がその運營において、時局の動向に溶け込まず、超然としてゐるときは、それ自體「時の敗者」となるからである

◇

各業者の意志を綜合しこれを爲政者へ仲介するのもよからう、しかし、それは建設的なる協力でなく、王道への翼贊でもない、それは最も消極的なる運營であると言ふことが出來よう、かくては、時代の潮流の中に在る業者の母體としての使命を果されない

◇

今日の時代における商工公會の最も大きな仕事は統制經濟への協力である業者の意志を代表することよりも、業者自體をして、統制經濟を完遂せしむる拍車たることが必要であり、この指導的立場から、その運營方法を再吟味すべきであらうと思ふのである

腕づく半次　(174)

（禁上演映畫化）　中川雨之助　西正世志畫

馬場に起る聲

『お氣の毒さま、定五郎は、居りませんが』

風邪でもひいたのか、婆さんは、ゴホン〳〵と咳をする

『何時お歸りになりますね』

『どういふ御用でございませう』

『明日、朝早くから、漁に出たいと思ましてね』

『あゝお客さまですか。折角でございますが、仕事は休んで居ります』

『そいつは困りましたな。親方と、堅く約束をして置いたんだが……』

『まことに、相濟みません』

『親方は、今夜歸りますか』

『それが、あなた、明五、六日、不在でございますので』

『ヘエ、すると、旅へでも行かれましたか』

『イエ、それがその……』

婆さんはまた咳を始めた。

『若い衆が困りましたね』

『ハイ、精吉といふのが一人居りますが、それも、今夜は居りません』

『ちやあ、婆さん一人なんだね』

『ハイ』

『それは淋しいことだねえ』

『ハイ〳〵御親切に有難う存じました、齡を取つてからいろ〳〵苦勞を致します』

優しく言はれて、急に悲しくなつたとみえ、婆さんは、頻りに水涕をすゝり上げた。

半次は、宜い加減にして引揚げた、定五郎の居ないことは確だが、何しろ婆さんを相手では要領を得ない。

來る時には兩國の方からやつて來たが、今度は反對に、藥研堀埋立地を通つて、橫山町、馬喰町を横切つて、郡代屋敷の近くへ差かゝつた、其處へ來るまでは、何事もなかつた。

もう何處もかも、スツカリ寢靜まつて、お濠から立上つた水鳥の、頭の上を鳴いて通るのも寂しかつた。

馬喰町四丁目の辻から、町屋の家並を外れると、それから先は眞暗である。

一方は、郡代屋敷の鬱々とした建物で、片一方には、何の樹だか知らないが、鬱々と聳えて夜の空を遮つてゐる。

その樹立の向うが、初音の馬場であつた。

半次は、殆んど足探りにして、馬場の土手外に差懸つたがその時である。

『助けてくれえ…人殺しイ』

といふ聲が、夜の寂寞を破つて、聞えた。

ハツと半次は立留つて、第二の聲を待ちながらチツと見當をつけた、いまの聲は、廣い馬場の可なり遠方から聞えて來た。

バク〳〵と、追ひつ追はれつしてゐるらしい足音が亂れて響く、それで、それが次第に、此方へ近づいて來た

半次は、傍の立木の幹を小楯に、身を潜めて樣子を窺つた、左の手は、脇差の鯉口を切つてゐた。

『人……殺し……助けて……』

追はれてゐる男は、もう息も切れ切れで、救ひを求める聲も、出來るのであつた。

しかし、追はれるのは誰か——？半次の眼には、やつと二個の影法師の動くのが、おぼろに映るだけで、武士か町人か、それすら分らないのであつた。

距離が段々間近く迫つて來たので、その人影が、半次の眼に、ハツキリ映つた。

刀を振りかざして追廻して居るのは、覆面の武士で、追はれて居るのは町人であつた右に躱し、左に避け、娑を

先途と、逃げ廻つて居るが、いまにも町人は、斬られてしまひさうである。

持前の俠氣半次は、默つて觀て居られなくなつた。

金曜　舊十　辛丑　九月　先負　廿　月　平　廿五　婁宿　五日

東京・本郷・鈴誠館

● 一白の人　見込違ひある日緊縮方針を探るが安全なり南と北と庚が吉

● 二黑の人　一小口舌も大事論と成り易し內外共に注意東と南と北が吉

● 三碧の人　投機的の事に手を出す時は大失敗を招く日西と東と壬が吉

● 四綠の人　相談事には兎角口舌の伴ひ來り易き日注意巽と乾と壬が吉

● 五黃の人　運氣壯んなる如く見えても順の授からぬ日東と南と北が吉

● 六白の人　事の大小となく密かに心を配りて進むべし巽と庚と壬が吉

● 七赤の人　運氣壯んにして思はざる幸福も入來るべし巽と壬と庚が吉

● 八白の人　平凡に終り易き日急功を求むる時は却て凶東と南と內が吉

● 九紫の人　榮々と進展し行く日開店起業入學何れも吉乾と乙と丙が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊八頁】
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電(3)三三二五・三三〇〇番
發行人 十河榮忠　編輯人 和波豪　印刷人 水越内之介

今が重大時期だ

窮鼠、人を噛む

當局重ねて市民に要望

ノミと鼠ゐる限り 防疫戰完勝遠し

【二十四日午後四時防疫總本部當局談】人間ペストは大體終熄の趨勢にある、然し未だにボツリボツリと發生してゐるから油斷は出來ない現在のこのボツリボツリと發生してゐるのはまつたく鼠と蚤の爲である、鼠と蚤を退治せぬ限り防疫を完了したとは云へない、又市民も秋を高うして眠る事は出來ない出來ペストの流行はその終わりに近づく程ペスト菌が強くなり從つて罹患の狀態が激しくなり死期が大變早くなるペスト菌の方も最後の戰をこゝろみてゐるのである、この恐しい敵は即ち鼠である、有菌鼠は未だに跡を絶たないでゐる、而も窮鼠はかへつて人を嚙むのだ、ここまで戰つて來た市民がこの最後の一瞬に至つて鼠に敗けては今日迄の死鬪が何にもならない事になる、所が市民の中には鼠の味方をして人間の味方をしない裏切者がゐる、鼠を捕へず捕鼠、斃鼠を屆け出でず、又屆け出に當り自分一人の都合を考へて噛の住所、姓名を告げる者がゐるまつたく獅らぬ鼠にたゝりなしとの態度に見えるのである、こんな人は鼠以上に恐しい、本部に於ては新たに陣容を整備し、捕鼠、逮蚤戰に備へてゐる、市民は生きた鼠を捕へた場合、死んだ鼠を發見した場合は一匹と云はず、例へ半匹でも全市民を救ふ唯一の資料として直に最寄の派出所に屆出よ、さうして一日も早く全市民が枕を高うして安眠出來る様熱意を以て協力されたい、住所姓名を僞はる等絶對にこれを許さぬ、交通遮斷及び隔離を最も早く解除する途は捕鼠、斃鼠の屆出である、これを怠る以上四十萬市民は何時迄も解放されないのである

ガス消毒に避難支度

解除を前に入船町張切る

遮斷十三日を迎へた入船町四角地帶は遮斷解除を目睫に順次明朗色をとり戻してゐるが廿四日は最後的大掃除として徹底的鼠取りや石灰消毒を施行し、また居住民の健康檢診を行つたところ何れも健康者ばかりであつた、また廿五日を期して行はれる發生家屋とその圍繞家屋の瓦斯消毒のため各戸の目張りを行ひ、消毒家屋居住者の避難場は經王寺と決定、廿四日は避難支度に忙しい一日をおくつた、なほ遮斷以來の搬入物は八百三十五點であつた

周邊部落滅菌戰

東一條通三六和洋家具室内裝飾設計製作の二合水こと蘇耀生氏から金十五圓を些少ですがペスト防疫のため奮鬪せられつゝある方々に感謝の微意を表したいと二十三日午後本社へ寄託して來た

終熄を辿りつゝある〃黑死病〃の徹底的撲滅を期す完璧の包圍陣を布き逞しい活動を展開した新京鐵道警護隊では更に新京市周邊部落即ち小南、老西窩堡、南新京、孟家屯、大屯、西新の約二萬戸に餘る農民層へペストに關する認識を徹底せしめこれに斜應する警戒心を喚起させて自發的防疫に努める樣指導しこれ等鐵道愛護地域に蔓延の絶對的防止策として河野巡監を班長とする約五十名からなる消毒班指導班、捕鼠、捕蚤指導班、宣傳班、輸送班、連絡班を組織して活潑なる活動を開始したが

第一日二十四日は午前十時より午後五時迄の七時間に亘り小南、老西窩堡の約三千戸に消毒し宣傳班、指導班では愛護團長等の首腦部を招集しペスト對策の徹底的普及を圖る等と多大の成果ををさめた

更に廿五日は南新京、廿六日は孟家屯、廿七日は大屯、西新と順々に防疫強化を圖ることゝなり石炭酸、蚤取粉、鼠團子、マスク等を用意しこれが徹底を期することとなつた

捕鼠週間

一週間を延期さる

【廿四日午後八時防疫總本部發表】廿四日午後八時關係者會同種々協議の結果市の捕鼠週間は更に之を延長して廿五日より向ふ一週間を第二期捕鼠週間とし一段と捕鼠の成績を擧げ以てペスト菌の撲滅を期することに決定したる市民はその趣旨を體し全面的に之に協力されんことを切望する

諸法令調査

各分科會

政府は諸法令調整のため曩に各部門別委員會を設け既に基本制度委員會の基本法分科會及び國籍法分科會を開催したが右兩分科會の實績に鑑み會の日滿迅速なる運營を期すこととなり今回新に委員長代理又は小委員會或ひは常任委員等を設け以て委員會又は分科會を主宰せしめて責任の分野を明らかにし委員會今後の活動を積極化することとなつたので諸法令の調整には今後多大の期待が懸けられることになつた、而して今回決定せる委員長代理等の氏名は左の通りである

一、基本制度委員會　1、基本法分科會（委員長武部總務長官主宰す）2、國籍法分科會（委員青木法制處長主宰す）

二、司法制度委員會（各分科會毎に小委員會を設くる豫定）1、司法制度分科會（委員及川司法部次長主宰す）2、民事法規分科會（委員鳥巢司法部民事司長主宰す）3、刑事法規分科會（委員岡分司法部刑事司長主宰す）

三、交通通信法規委員會（委員長代理は委員飯野交通部次長）

全く問題とするに足らないと一笑に附してゐる

蘭印正式否定

英の石油買占説を

我が方に對して通告す

【バタヴイア廿三日發國通】イギリスの蘭印產ガソリン買占說につきファン・ホーグストラーテン通商局長は曩に新聞記者團に對してこれを否定した言明を行つたが、同局長は廿二日朝更にわが齋藤總領事に對して右の事實を正式に否定、ロンドン情報の傳へてゐる如き蘭印產航空機用高級ガソリンをイギリスが獨占的に買付けつゝありといふ如き事實は全然存在しない旨を通告し來つたまたリツトマン宣傳局長は廿二日の日本人記者團との會見に於て「蘭印は今や殊更に事實を歪曲した各種の外國宣傳に直面するに至つた」と言明、蘭印問題に對する冷靜な判斷を要望した、なほ當地有力紙ニュース・ブラツトは廿二日附紙上に於て去る廿日イギリスBBC放送局が日蘭會商決裂說を報道したのに對しこれを頭から否定した記事を揭げ、かゝる報道は

張司法部大臣

龍江省方面主要糧穀出荷督勵使張司法部大臣一行は濱江省監獄行政視察の都合により來る二日午前四時八分新京驛發列車で北上することに決定した

科學的調査後

愼重に解除

當局發表

【二十四日午後四時防疫總本部發表】隔離地域の解除は凡ゆる科學的檢討を加へペスト菌なきを證明し解除後再び他地域にペスト菌を 布し てペスト患者を發生せざる確信を得たる後速かに解除す

一、隔離解除の時期は次の如し、最後の患者發生入院約二週間後にして消毒の完了したる時期、但し有菌鼠、有菌蚤の發見せられたる場合はその地域にたいてこれを撲滅し得たることを確認したる時期

二、隔離期間中は家屋、家財被服、寢具等の消毒及び有菌鼠、有菌蚤に對し居住者全員の絶對なる協力により一日も早き解除を迎ふる如くするを要す

三、現行の消毒方法によれば家屋、家財、被服、寢具等には聊かの損傷も加へず

容疑者一名收容

【二十四日午後四時防疫總本部發表】二十四日午後四時收容したる容疑者一、發見したる有菌鼠一他に特記事項なし

本社寄託義金

市内一

機械 發注統制に

民間側協力機關成る

鑛山用その他重化學工業用機械類の對日發注は總て政府の發注證明を要することゝなつてゐるが、五ケ年計畫の進捗に伴ふ各種鑛工業の發展はこれら對日發注機械類の著しい需要增加を招來し政府の發注統制を極めて多岐複雜化してゐる、よつて滿鐵、滿業その他主要需要者側では過般來滿洲機器需要者協會を結成し政府の發注統制に協力するとともに對日發注機械類の迅速かつ圓滑なる取得を圖るべく種種計畫中であつたがこのほど具體化を見るに至つたので廿四日午前十時より滿業會議室に於て發會式を擧行、經濟部より鳥谷機械工業科長、關係各會社より代表者出席して左記事項を決定した

△名稱　滿洲機器需要者協會
△會員　滿鐵、滿業、電業、協和製鋼、本溪湖煤鐵公司東邊道開發、滿炭、電々、鑛發、採金、吉林人石、合成燃料、油化、同和自動車、滿山、輕金屬、電化の十七社
△役員　會長＝擔任滿業理事　幹事＝滿鐵、電業、滿業、滿興
△事務所　新京東京の兩地に置き新京に於ては差し當り經濟部に置く

獸醫學の權威

新京畜產獸醫大學々長 新見信太中將

在滿將官の中でたゞ一人の博士さま、新京畜產獸醫大學々長農學博士新見信太獸醫中將は明治十二年熊本縣の產、東大農學部を出て四十二年獸醫中尉に任官し大學院に入學して獸醫學を專攻の後陸軍獸醫學校教官となつて更に傳染病研究所に入り、少佐にして第十一師團獸醫部長を拜命、西比利亞に出動し凱旋するや陸軍獸醫學校教官兼病馬廠長となり、歐米に於ける軍馬の傳染病豫防狀況視察の途に就いたが、歸朝後、朝鮮軍獸醫部長、第三師團獸醫部長、近衞師團獸醫部長、陸軍獸醫學校長等を歷任、此の間、馬の骨軟症の實驗的研究に關する論文を東大に提出して學位を授けられたう

斯くて昭和十年軍馬の嘶きに送られ、部内から惜まれつつ現役を退くや、私財を擲つて私立日本高等獸醫學校を創立、校長として獸醫の育成に精魂を傾けてゐたが、滿洲國政府の懇望もだし難く本年二月渡滿し、餘生を畜產振興の指導者養成に捧げることになつたものである、軍服を脫いでも將官である以上、將軍と呼ぶのが儀禮には相違ないが、新見中將は將軍にして將軍に非ず、博士と呼ぶ方がピツタリと板につく獸醫學の權威者である、半生を馬の傳染病研究に沒頭したといふ博士に今更軍人生活の追想でもあるまい、專門の話を聞かせていたゞくとしよう

馬匹、特に軍馬に一番重要な問題は何かといへば鼻疽、骨軟症及び傳染性貧血に對する豫防である、最近國都に人間ペストが發生して騷いでゐるが、馬のペストたる鼻疽は滿洲が本家で非常に感染率が高く、日本內地では檢疫に頭痛鉢卷となつてゐた、そこで私は二十餘年に亘つて研究をつゞけ、漸く實を結んで飼料に干草を用ふれば豫防出來ることを確證したが、干草を作るのに最も適した六月と八月は滿洲の雨期に當る關係上青草の腐敗防止に乾燥を要し、その點につい て引つゞき研究してゐる傳染性貧血は既に明治四十年ごろ寺內陸軍大臣を委員長とする研究委員會を組織し、自分も中尉時代から委員の一人として研究をつゞけてきたが、殘念ながら未だ豫防法を發見するに至らず、後進の諸君に殘された大きな課題となつてゐる【寫眞は新見氏】

農產物檢査所

愈よ設立の準備へ

產農物國營檢査の代行機關として來る十一月一日から業務を開始する財團法人農產物檢査所の設立に關し滿鐵、興農部間に左の如き諒解成立二十五日新京で設立準備會を開催することになつた

一、滿鐵の混保檢査課社員は原則として全部新たに設立される農產物檢査所に引繼ぐが業務の圓滑を期するため滿鐵の無給囑託とする

一、滿鐵は新檢査所設立の寄附として二百萬圓を出資し又經營補助として年二十五萬圓を支出すること、なほ檢査所設立に伴ひ鐵道總局營業局混保課は廢止となり貨物課に混保係が設けられ早川混保課長外一名は常任理事に就任の筈である

外務省異動

【東京發國通】外務省では一兩日中に第九次異動を發令するが駐佛大使館一等書記官酒井清氏はルマニア公使に榮轉駐獨大使館商務書記官永井亞歷山氏は商務參事官に昇格、本省通商局第一課長新納克己氏はマニラ總領事に轉出し、新納氏の後任には外務事務官法華津孝太氏が任ぜられる筈また條約局第一課長大久保利隆氏はハンガリー公使に轉出することとなつた

ビルマルートを衝く海鷲【電送】＝軍檢閱濟

出荷の促進を積極化

關係者大擧して現地へ

高粱、包米に對する出荷獎勵金制度は九月末方針を決定、本月中旬現地機關にこの趣旨を徹底實施中であるが、國內外の食糧對策上主要食糧農產物の出荷促進は一日も忽せになし得ざる重要問題であり現下の出廻狀況より推して一段と獎勵金制度の趣旨徹底を圖るの要あるに鑑み二十四日武部總務長官は生產事務省長宛「獎勵金制度の徹底を圖り出荷を促進せられたき」旨の指令を發したが、これ等主要糧穀は出廻り最盛期に直面してをり、出荷獎勵金制度の適用は十一月十五日迄に出荷せるものに對して交付されその間僅かに一ケ月を殘すのみとなつてゐるので、興農部においては現下の出廻り狀況に鑑み獎勵金制度に對する一層の普及徹底を圖るため本部關係官を總動員して二十五日より大擧出動、北滿を中心とする生產事務省廿五縣旗に向ひ、省を通じ各縣興農合作社と協力、獎勵金制度の徹底を圖るとともに出荷の促進を期することとなつた

阿部大使歸朝

【上海廿四日發國通】特命全權大使阿部大將は廿四日午前十一時出帆の郵船龍田丸で歸朝の途についた

參議府會議

通過事項

第四十六次定例參議府會議は二十四日午後二時より參議府

佛印に自治權

對日問題處理に附與

【ニューヨーク廿三日發國通】N・B・C放送局が廿三日ドイツよりの放送を傍受したところによればヴイシー政府は佛印に對し日本との關係及び經濟的諸問題に關するあらゆる事項を獨斷で決定する自治的權限を附與したといはれる

大行山脈の敵

包圍網を今や壓縮

【石門廿四日發國通】去る十三日早朝より一齊に行動を開始し大行山脈北部の峻嶮を進擊中の井手、山崎、長松、河野の諸部隊は廿三日府縣東北約六十キロ中家谷附近にて感傷の猛手をなし、直ちに反轉峻嶮を征服しつゝ敵を追擊、一方東方より進擊中の吉井、新井、山村、櫻井の各部隊もこれに先立つて阜平西方七十キロの北庄へ包圍圈を壓縮し同地附近にある敵の軍事各施設を破壞掃蕩中である、進擊開始以來現在までに判明せる戰果左の如し

△遺棄死體　四六六
△俘虜　一二〇
△鹵獲品＝小銃二一〇、機銃五、拳銃二、迫擊砲八五九、彈藥其他軍需資材、軍服一六〇〇、綿布八〇〇、電線一〇〇、石棉一〇〇

特発綿製品の割當强化

經濟部では綿製品に對する需要增加の傾向に對處し康德七年四月より九年三月に至る特發綿製品の割當について

大公報重慶外交陣痛擊

【上海廿四日發國通】重慶側

冀東地區の共匪を覆滅

【承德廿四日發國通】第五軍管區司令部發表＝今春以來冀東の山岳地帶に蟠居せる共產軍の徹底的剿滅を期し西に東に不斷の活動を續け出動以來數次の戰鬪に赫々たる戰果を收め北支の戰野に勇猛と健鬪をもつて誇る國軍の精銳北原部隊は去る廿日午後二時平谷東方八キロ寨馬營の山岳地帶において共產軍と遭遇激戰を展開、一撃を與へこれを南方に潰走せしめたり、この戰鬪は於て

內地の轉業者十萬

開拓地に招致

日滿一體 農業生產に拍車

事變發生以來急激に增加しつゝあつた中小商工業界の要轉業者に加へて最近における奢侈品等製造販賣制限その他の經濟統制強化によつてこの要轉業者數は一層增加の傾向にあり、これが對策として日本においては要轉業者の轉換誘導先を（一）軍需產業方面（二）生產力擴充及び附帶產業方面（三）滿洲開拓民方面（四）國內農業生產力擴充方面（五）土木方面と大體目標を定め、着々之が具體策の檢討を進めつゝあるが重點を歸農運動に集中、滿洲國側としても日滿一體化の原則、開拓政策擴充の觀點より積極的に日本の右歸農運動發展には欣然參加、滿洲國側よりも廣く日本に呼びかける一方右歸農開拓民招致に關する準備體制を進めることゝなつた滿洲開拓政策中に轉業對策が取入れられたことについては曩に商工開拓民入植計畫があり一部には實施された向もあるが結局日下考慮されつゝある歸農運動に基く農業開拓民としての效果よりも一步を出でない許りでなく資材關係から見て滿洲における新たなる工場經營は相當の困難も豫想され更に國防力の實質的培養は農業生產力如何に係る所大であり、且つ滿洲國建設の礎は一に日本開拓農民の強行入植にあると凡ゆる角度から檢討された結果、轉業對策として歸農運動が取上げられるに至つたもので、現在大體四十萬と見られる要轉業者中少くとも十萬見當の歸農者は擧げて滿洲側に招致せんとするに至つたもので開拓總局を中心とする滿洲國關係機關は滿洲農業增產計畫、開拓政策擴充の兩面より豊饒なる曠野が優秀なる日本農民の開發の觸手を待望しつゝある事を呼びかけ、遲くとも今月末迄には招致に關する一切の計畫を樹立せんとしてゐる、しかし要轉業者の開拓民としての入植は農業技術の點について速效を期待することは不可能で、一定時に亘る勤勞農事訓練は必要と豫想されるので入植方法については第一年度は勤勞奉仕隊乃至は開拓挺進隊として現地の開墾と同時に農業技術訓練を體得し、併せて滿洲國の實體を把握して一旦歸國、更に農業的訓練を日本に受けたる後翌年先遣隊となつて渡滿する二年計畫でもつて入植を行はんとする如き方法が採られるものと見られ、從つて明年度勤勞奉仕隊計畫乃至は開拓挺進隊計畫には同後における開拓政策中の新たなる課題を包括され、頗る重視すべきものがあると同時に開拓政策自體としてもこの新たなる入植招致計畫に一つの方向が展開附加され一段の飛躍が要請されるに至つたものとして注目される

綜覽ニュース

米空軍比島移駐

【ワシントン廿三日發國通】米陸軍省當局發表＝陸軍は第十七および第廿兩追擊機隊をそれぞれ比島に移駐せしめることゝなつた

ハル長官明言せず

【ワシントン廿三日發國通】廿三日のハル長官と記者團の定例會見においては極東情勢の展開ならびにこれに關聯する英米協力問題、米軍海軍の太平洋政策に關し記者團側から質問續出したがハル長官依然として明白な態度を表明することを避けた

參戰回避を確言

【フイラデルフイア廿三日發國通】ルーズヴエルト大統領は廿三日當地方大會で米國の參戰回避を繰返し確言した

サン紙警告發す

【ワシントン廿三日發國通】

獨逸の對佛提議

【ニューヨーク廿三日發國通】ローマよりの情報によれば

對英攻擊を協議

【ベルリン廿三日發國通】ヒトラー總統は廿二日

本社寄託ペスト禍慰問金

人事往來

商況

東京株式　各地株式市況　大阪株式

新刊紹介

△實業之滿洲（十月號）林源一「民間傷拂新經濟の體制を衝く」山本悠治「歐米の工場管理と日本の比較」谷一馬「五十年後の滿洲」その他の經濟記事を盛つてゐる（大連市越後町二八、實業之滿洲社、五十錢）

△滿洲經濟（十月號）岸本誠二郎「新體制と東亞ブロックの新段階」稲田征夫「滿洲開拓政策の動向」源田松三「濱江省防水開發事業と省地方債の發行」金井章次「蒙疆經濟の現狀」日比野襄「蒙疆財政の健全性」その他、蒙疆經濟についての特〇記事を盛つてゐる（新京、滿洲經濟社、一圓）

△航空と防空（十一月號）佐藤博「獨逸の航空事情」濱田稔「防火に付て」高橋雷次郎「家畜の瓦斯防護に付て」藤原金太郎「開拓義勇軍とグライダー」その他（新京、滿洲空務協會、三十錢）

ある佛教信者の見たる 石原莞爾將軍

伊地知則彦 (9)

それから私は一週間に一度は必ず石原將軍の宿舍を訪問した。むろん御仕事に寸暇もない閣下と直接お話しする機會はほとんどなかつたが其處には盟友杉浦兄がゐた。私は杉浦兄から色々と信仰に關する話をきく事が出來た。杉浦兄の話は日蓮主義信仰の立場から現實の東亞の諸問題を如何に解決すべきであるか？といふ事についてであつた。

それからあの夜閣下のお話しになつた佛敎の豫言といふ事について一つ一つ事例をあげてあるゐは法華經の中からあるゐは御遺文の中から說明するのであつた。

閣下が何か重大な問題について事を決せられる時は必ず法華經には何と示されてあるか？御遺文には、かかる時如何に行動せよと示されてあるか？と尋ねられるのだといふ話もあつた。

私は熱心に杉浦兄から法華經の信仰について日蓮主義の人生觀、世界觀、國體觀について學び得た。しかしこれはホンのつかのまの事であつた。やがて杉浦兄は東京に歸り私はハルビンに轉任する事によつて一時中絕されてしまつたのである（私はその頃より志あつて協和會會務職員になつた）しかし私は自分自身ハルビンに行つてから一心不亂に日蓮主義について勉强した。私の信仰もかうして日一日と深まつて行つた。

かうしてゐるうちに昭和十三年もくれた。昭和十三年の年の暮れに私は練成所で滿系の青年訓練指導員の訓練をしてゐた。

私は昭和十三年のまさに過ぎ…後一時間すれば昭和十四年の年をむかへるといふ最も一年中の厳粛なる時に一人教員室の中に坐つて靜かに法華經の壽量品を讀んでゐた。

昭和十四年の一月一日になると一心不亂にお題目を唱へはじめた。そして私は佛天に誓つたのである「何とぞ此の年に於て私を正法に御導き下さい。私は此の一年を不惜身命の誠をもつて法華經を受持致します。そして決して退轉は致しません」私は一心不亂に誓つた。そして直に新京神社に參拜して再び此の決心を報告申し上げたのである。

近ごろのこと (1)

葉室早生

隣組の問題

滿洲は隣近所が煩さくなくてとても住みいい。此の言葉は過去に於て、人も言ひ、私自身も亦さう思つてゐた。周圍が狭いせいか、ちよつとしたことでも、人々の話題にのぼり過ぎてわづらはしく感ずることが多い。滿洲でも、數年前或るローカルの新聞が、道聴塗說的な話題を拾ひあげて、浮世小路といふ特設欄を設け、大いに讀者の興味を唆つたことがあつた。

人間といふ者は、兎角人の噂には下らぬ興味を持ちたがるものと見えて、遂には讀者より進んで種を供給する樣になり、中には悪意さへ含んだものが現はれるやうになつたその爲に、それ迄はとても平和だつた此の町が、何となく落つきを失ひ、一擧手一投足に迄人の目を感ずるやうになつて、いやな思ひをさせられたことがある。これなどは、顯に新聞の持つ使命を没却して、自己の利益のみを追うた營利政策の最も悪い例であるが、さりとて植民地的な、又は東京的な、隣の人とも交際をしない、鼻を突き合しても頭も下げない、といつたやうなやり方も決して感心したものではない。

以上述べた二つの傾向は、前者は概して田舎に多く、後者は出稼者の多い都會地や植民地に多く見受けられ、更に後者は、比較的知識階級であると自負する人達の間に多いといふことも一考すべきことがらであらう。

而して此の傾向と關聯して常に考へさせられることは、最近頓に話題にのぼるやうになつた隣組結成の問題である。先に述べた二つの傾向は、さして隣組の意識からすれば、隣關係のないことがらのやうではあるが、然しながらこの一見關係のないやうなことがらが、どうして私をして斯く聯想せしめるのであらうか。それは此の二つが、ともすると隣組結成の上に間違つた作用を惹起する虞れが多分にあるからである。

近所附合は煩いとか、隣の人達の無知識を笑ふやうでは隣人相愛の精神は顯現できない。自由主義的な獨善孤高では此の精神は理解できない。已れを空うして、公に奉ずる精神を基調としなくては、此の隣組の精神は到底結實しない。要するに此の隣組の精神は、心と心の結合を基調とする互讓の精神であり、進んでは全體主義への移行である。今日の此の目まぐるしく變轉する世界情勢に處して、我が祖國が如何なる方向に向つて動きつつあるかを思ふならば、必然的に祖國と運命を共にせねばならぬ我々も亦、晏如として舊態依然たる自由主義の殘滓の中に彷徨することは許されない。

要するに、煩いと思ふことは親切といふことを忘れてゐるからである。鼻突合しても挨拶も交さないといふことはあまりにも自惚が強過ぎるからである。お互が若し童心の昔に返り、すべてのかうした與味を揚棄して、赤裸々な心の交はりを願ふならば、隣組結成の如きは自然のうちに實現すべきものであると信ずる。隨つて、隣組の結成には、先決問題として、此の心構へが絶對に必要である。

科學 迷信について

大同一郎

科學振興の聲と共に迷信打破が最近各方面から強く叫ばれてゐます。迷信は野蕃未開と極めて關係の深いもので、文明國には數が少いのですが、我が國は歐米諸國に比し迷信が多いのは實に遺憾です。

迷信は果して、どんな原因から起るかを明かにすれば迷信打破は自然に解決すると思ひます。

迷信の原因には色々ありますが、矢張り古代人の生活の習慣や自然に對する驚異から生れてゐるもので、自然の謎を解かうとする努力の現れでもあるのです。例へば蒙古人の一部には水で衣服その他を洗つては神の意志に背くものだと言ふ考へがあつて一生の間に一度も着物を洗はず垢でピカピカ着物が光つてをりますが之などは水に乏しい蒙古に生活して極端に水を大切にした所から起つてゐるのです。

野蕃人は自然の法則を知りませんから、すべて自然は驚異であつて天變も地異も一切が神の意志であるといふ樣に考へ神が怒つた樣に思つたのです。しかし自然人も四季とか自然の運行に關する法則は經驗から次第に悟るやうになつて、八十八夜とか、二百十日といつた事のいはれをやがて知るやうになりかうした方面から曆法、九星、五行說、干支說等が發達して行つたので一種の科學や統計の始まりなのですから、中には現代の科學と一致するものもあるわけです。

この樣に迷信は文明の低い所に發するので病災、貧苦に惱まされた場合に、苦しまぎれに何かこれを解決する手段に取りすがらうとして、迷信に飛びつく場合が極めて多いのです。

西洋では近代科學の發達が著しく、それに文字も平易で文化の傳播が一般の人々にも及び比較的早くから迷信が一掃される傾きがありました。これに反して東洋は古代には比較的高度な文明が起つて科學の端緒が開かれたのですが文明の傳播、進歩が思はしくなく、一般大衆は無智蒙昧の中に放置されてゐたので、古代の科學だつた五行や干支が後々までも殘つてゐたのです。

かう考へてみれば、迷信は現代には通用しないことが氷解すると思ひますが、新聞雜誌等の干支、方位、九星等は一掃したいものです。

アルバムの寫影（4）

映畫のワン・カットではない 在りし日の名映畫監督故山中貞雄氏の出征中の寫眞である。左はこれも映畫人志波西果氏。＝中支戰線

放送プロより けふの音樂

【前八・二五】朝の音樂＝レコード（一）フルート獨奏「瑞西歌調による華麗な變奏曲」（ボーム作曲）モイーズ（二）ヴァイオリン獨奏「インドの歌」（コルサコフ作曲）「ロンドンデリーの歌」（クライスラー作曲）「美しきローズ・マリイ」（クライスラー作曲）「愛の歡び」（クライスラー作曲）クライスラー

【後五・三〇】室內管絃樂、行進曲「正義の皇軍」（小菅禮四郎作曲）幻想曲「時計屋の店」（オルト作曲）「小川のほとり」（モールス作曲、大陸浮線曲）圓舞曲「風の結婚」（ホール作曲）「扶桑歌」（トバニー作曲）新京新內管絃樂團

時事解說 ビルマ・ルート再開（下）

佛印及びビルマ・ルート兩大援蔣路の喪失によつて重慶側の受けた打撃は物心兩面から極めて大であつた殊に對蔣輸血量の八十パーセントを喪失したのみならず借款の對價として引當にされてゐた茶、桐油、豚毛、皮革、タングステン、アンチモニー等特產物の輸出も不可能となつたからである、これがため重慶の困憊はその極點に達しかれに伴ひ國共の軋轢は日と共に激化し和平の空氣は公々然と鋭角度に擡頭して來た、かうした苦境のドン底にあへぐ重慶に今度の霹靂の如き三國同盟の成立である、三國同盟が英米並に重慶政權に與へた影響は實に測り知れざるものがあつた且つそれがルーズベルト米大統領の言ふ如く斯くも早く成立するとは以外であつたらうそれだけ現實の問題として直面した時狼狽せざるを得なかつたであらう此の情勢に對し米、英兩國は對抗的に合作しかつ重慶政權に對する援助は急激に積極化して來た

日、佛印間の友好的協定に基く日本軍の平和的佛印進駐でさへ逸早く米國は二千五百萬弗對蔣援助借款供與によつて直接反應を示し且つ又引續き屑鐵、鋼類の全面的禁輸を斷行したのである

いはんや三國同盟の成立を受けて立つ米國が極東に於ける監察官から一歩前進するであらう事は容易に豫想され得るところである、それは英米聯繫、シンガポール軍港の英米共同使用、米國の對蔣援助の强化、英米の對日禁輸等々の一聯の事實となつて現はれんとしてゐる

重慶政權がこの好機を何條見逃すことがあらう、溺れる者藁をも掴む心理で內外をあげて對英米親善工作に大童べである、重慶政權としてはビルマ・ルートの再開如何は即ち英米の具體的援助の試金石である且つ又西南援蔣ルート潰滅し西北の對ソ打通路所謂赤色ルートが餘りに長距離であり其他地理的諸條件のため問題にならない今日ビルマ・ルートの再開が抗戰重慶にとつて如何に至誕指かざるものであるかは極めて明瞭である

斯くして米國の糸に引かれつて英國のビルマ・ルート再開は最早既定的不動の事實にならんとしてゐるが、翻つて見るに既に佛印には皇軍堂々の平和的進駐あり空軍また去る五日鹵獲を揃へて河內に進駐してゐる今後昆明と言はず雲南、四川と重慶抗戰の後方據點は我が爆擊圈內に容易に入らざる所なくビルマ・ルートも再開すれば同前の運命に置かれることは明らかである殊にビルマ・ルートの如き山間の不完全な道路や橋梁が我が空爆によつて破壞されればその修復に多大の日子を要することとなるべく斯く見きたる時ビルマ・ルートの再開も實質的には重慶政權の期待を裏切るところ極めて多いものと見られる

らくがき帖

自画像

筆者・土肥民生部次長

最近の求職者

小野寺茂雄

新京市立職業紹介所で扱つてゐるのは殆んど日本人（鮮系を含む）ですが、求人の申込は官廳方面が一番多くデパートや個人商店等からの申込も時々あります。

殊に最近發達した奥地の新興都市などではなかなか思ふやうな人が得られないのか、他地方からの求人申込が半數を占めてゐる有樣です。

特殊會社方面は今春のストップ令の影響かほとんど當所の求人申込みは無くなりましたが、ストップ令に依つて止むを得ず整理された人で「人物も確かだし惜しいから是非何處か適當な所へお世話願む」と會社の上役の人から頼んで來たのが數件あつたりして何となしに人情に觸れたやうな氣がしました。

×

九月中の求人數は二〇一名求職者數一七一名でこの中の約一割が婦人です。五十歳以上にもなると皆が皆といふわけには行きませんが、四十歳前後までの健康な人はほとんど百パーセントの就職率です求職者一七一名の學歴は尋常科卒業二名、高等科中途退學二名、高等小學卒業といふのが斷然優勢で八四名、中等學校（中學、商、工農學校等を含む）中退三五名、同卒四一名、專門學校中退一名、同卒五名、大學卒業一名となつてをり、年齡は十七八歳から三十歳前後といふのが普通です。

待遇（收入）は當人の學歴、職歴、技能等により又新たに就く職場によつてなかなか一定しませんが、高等小學卒業で多少經驗ある者が百貨店の店員に入ると普通宿舍つきで月收五十圓前後、個人商店は幾分落ちるやうです。九月の就職者中月收（本俸手當等を加算す）百圓以上の者三五名百五十圓以上の者が十五六名つあたやうです。中等學校卒業者でも相當の職歴があつて廿七八歳にもなつてゐれば官廳、協會、公會等の事務方面で大抵百圓位は間違ないやうです。

×

目新しい傾向として三四ケ月位前から鮮系の求職者が著しく增加してゐますが、鮮系は兎角滿系の人達と折合が悪く責任感が薄い人が多いといふので就職率があまり香ばしくないやうです。それもこの土地の人だと未だよいのですが他の地方から殆んど無一文でやつて來る無茶な人が多いので困ります。

一般に三十歳近くもなると大分思慮が出來てあまり無鐵砲なことはやりませんが、二十歳前後の血氣にはやる青年は兎角分別を缺いて所謂滿洲熱とか大陸熱とかに冒され、頼るべき縁故者もないのに片道の旅費だけ工面して飛出して來る、新京に着いた時は殆んど小遣錢も懐中に殘つてゐない。仕方が無いのでどんな仕事でもいゝからと泣きついて來るといつた按配です。幸ひに早速職にありついたと思つても深刻な住宅難に身を置く場所も無いといふ悲慘事が珍しくありません。滿洲といへば金の雨でも降るかのやうに內地の三倍も四倍もの高給を豫想し、しかも住宅難などはてんで考へた事もない青年が內地に充滿してゐるのですから全く困りものです。

×

此頃の就職希望者は兎角職業といふものを輕く見すぎるのではないでせうか、大抵の人が何でもいゝ、食べられさへすればどんな仕事でもいゝといひます。金にさへなればどんな仕事でもといふ不見轉藝妓にも劣る人があります。折角職業に就く以上唯食べる爲にのみ働くのでは物足りません。少くともその仕事を理解し、その仕事によつて自己を伸ばすのでなくては、自分の一生を任せる職業とはなし得ません。餘り輕々しく職業に就く結果直ぐその職場が嫌になつたり不首尾をしたりしてあれこれと仕事を漁つて轉轉し、大切な青年期や壯年期をうろうろして到頭何一つ身に就いた仕事も無くして一生を終るといふやうな事になるのです。假令學歴といふほどのものは無くても、若い時代に自分に相應しい職業に就き眞面目に仕事をして行けば三十臺四十臺になる頃には相當な地位も得られ、社會を益するやうな仕事も出來るのです若いからと油斷しないで社會生活への第一歩である青年時代に眞に自分の性能に適した職業を選ぶべきです。それには先づ自己を識ること、若い人に限らず新たに職を求めやうとする人は先づ自分を再認識して顧き度いと思ひます。自分がどんな仕事に向くか、どの位の仕事をやれるか、何が優れてゐるかをよく考へて職を選ぶべきです。一口に事務員と云つても店員といつてもその仕事は樣々ですから餘程しつかり自分を認識して選ばねばなりません。

×

又中には「あの建物は立派だから」「會社の名前がよいから」とか、「あそこのバッヂは氣が利いてゐるから」とか、ひどいのになると肝腎の仕事よりも體裁ばかり氣にして職場を選ばうとする見榮坊も珍しくないのですが、これなど最も不眞面目な現代求職青年氣風の一面を示してゐます。＝【氏は紹介所長談】

朝風園

伊藤整「得能五郎の生活と意見」

「知性」十一月號所載。これは一風變つた小說である。中野重治などの書くものと一脈通じてゐると言へば言へる。

作家生活をしてゐる主人公、その主人公の日常、行動、心に思ふこと、思ひ出すこと、構想することを事細かに描き出したものなのである。であるから、一種の身邊小說と言ふことも出來さうであるが、今まで日本で言はれて來たやうな身邊小說乃至は心境小說とは違つたものである。

それは、作者が必ずしも主人公ではないのである。作者は主人公から離れたところにゐて、見てゐるのである。見てゐるといふだけでなしに、批判してゐるのだと言ふべきであるかも知れない。

得能五郎は銀座に出て行く。色々な人間に逢ふ。それらの人間と彼とは考へ方が違つてゐる。彼は世間から敎へられる。それでも俺は違ふのだと頑張ることもある。作家の生活といふ事に付ても眞面目に考へてゐる。一應面白い小說である。このやうな小說もあつてよいであらうと思ふ。（獨坊衛士）

世紀の英雄 (180)

番伸二　高田よしを畫

カイ太の家（五）

牧と別れて、麗子になつてゐた美惠子は、普通ならば大抵、自棄になるか、へんに世間を甘くみてしまふか―どうでもいゝやうな生き方しか出來なくなつてしまふのに、美惠子は、自省の強い女だつた。柔和な、しとやかな女性ではないけれど、自己を戒める眼は、女にしては珍らしい程きびしかつた。

牧利英との生活が、正しいとか正しくないとか云ふよりも、決して、自分も彼をも生かして行く途ではないことを知つた彼女は、さつぱりと別れた。

別れて靜かに考へてみれば―既に美惠子は都會生活に疲れ切つた神經を、やむなく、その日から翌日へと暮らして行く狹い鳥籠の中の小鳥のやうに傷ない彼女だつた。

何か、情熱が欲しかつた。生きてゆく目的と、逞しい意志の力が欲しかつた。

そんな時、兄の源太郎から「大陸の花嫁」として千振鄕へ來ないかと云ふ誘ひの手紙をうけたのである。

（何だ、いくら何でも、滿洲なんか這行つて、自分の生き方を樹て直さうとは思はない）

まして見ず知らずの人と結婚して、お百姓の生活なんか出來るものか―。

と一遍はさう思つて、日頃から兄の云つてゐた「開拓の理想」などゝ云ふものが却て遠く離れて行くやうな氣がしてゐたのであつた。

しかし、二日經ち、三日經ちするうちに、滿洲行が胸の中で希望の形をとりはじめてきたのである。

この變化は自分でも說明がつかないくらゐだつた。

『さうだ！北滿へ行つて全然生れ替つた生活を始めよう』

さう思ひ出したら、自分が移民地の生活に耐へられるか土の喜びを眞實、身につけることが出來るやうになれるか―そんなことを考へるよりも自分の生きて行く途は其處より他にはないと美惠子は決めてしまふのだつた。

兄の手紙にあつたやうに、デパートの、女店員から土の生活に入つて立派に生き拔いてゐる清田敏子と云ふ人もあるさうだ―とすれば、自分に出來ないことはないであらう。

さうして美惠子は、大連まで來てゐるからと、知らせてくれた兄の源太郎のところへ來たのであつた。

千振村で―花婿ときまる人は、吉川茂次と云ふ、動直純情の青年で、兄が太鼓判を押して保證する青年だとか。

美惠子は―まだ見ないその吉川と云ふ青年に對して、不思議に少しも不安を感じなかつた。却て―きつと、いゝ人に違ひないと、ある種の憧れさへ持ち出してゐるのには自分乍ら可笑しかつた。

『ねえ、直ちやん。あたし、いゝお嫁さんになれるかしら』

直子は、おとなしく微笑して肯いた。

しかし、直子がきゝたいと思つて待つてゐる大岡一郎の話を美惠子は少しもしないので到頭、彼女は思ひきつて訊いた。

『大岡さんは、どうしてるかしら』

安藤中將等に御慰勞の午餐

【東京國通】天皇陛下には廿四日大陸の戰野から歸還した安藤利吉、岡部直三郎、田中靜壹、平田健吉、飯田定市、藤野太吉、舞傳男、山下奉文各中將、田中新一少將の九將軍に對し拜謁仰付られたが、さらにこの日正午豐明殿に出御、閑院元帥宮御臨席の下に九將軍ならびに歸還した桑木崇明、谷口元治郎、酒井鎬次、井關隆昌、柳下重治、中井良太郎各中將を召され東條陸相、杉山參謀總長、山田教育總監、寺内大將以下各軍事參議官、阿南次官、澤田參謀次長、松平宮相、百武侍從長、蓮沼武官長以下側近等も召され御陪食を仰付られた終つて千種間において茶菓を賜り親しく御歡談を賜り將軍等は恐懼武勳談等を言上したが、陛下には天機麗しく入御あらせられ一同は感激いよいよ深く宮中を退下した

安藤中將挨拶

【東京國通】廿四日參内軍狀を奏上して退下した前南支方面最高指揮官安藤利吉中將は午後六時から陸相官邸における陸軍三長官の招宴に臨み記者團と會見次のやうな歸還挨拶を謹上げた

本日參内致しまして畏くも拜謁仰付られ軍狀を奏上致しましたところ優渥なる勅語を拜し身に餘る榮譽に浴し恐懼感激に堪へません、この無上の光榮に浴しましても忠死せられました英靈、既に歸還し或は今なほ戰地に留まつて戰鬪を續ける忠勇なる部下將兵各位の赫々たる戰功を深く感銘し感謝致すとゝもに聖戰半途にしてまだ御期待にそはず歸還致しましたことは眞に慚愧に堪へぬものであります、今後は新しき環境に於て奉公の至誠にぬきんずべく固く決心してゐる次第であります從來南支方面軍に對し銃後國民よりの御後援、精神的物質的な多大な御懇情をこの際改めて衷心よりお禮申上げる次第であります

秋空に逞しき開拓花嫁

輝く明治の佳節に 十三組の三三九度

新婚旅行は祖國へ

若き開拓民の好伴侶となり共に滿洲の大地に生きる花嫁を養成しようと去る七月開設された北安省鐵驪縣安井の開拓女塾は開設者熊井女史の獻身的熱誠と各機關の援助が酬いられ來る十一月三日の明治の佳節をトし協和會鐵驪縣本部の肝煎りで鐵驪神社において卒業生の第一回合同結婚式を擧行することとなつた、當日は午前十一時から鐵驪神社社頭で開拓女塾の卒業式、即ち秋田、山形、宮城から集つた第一回卒業生十三名の嚴肅の中にも華かな合同結婚式を擧行午後一時から縣公署で披露宴を張り「螢の光」の餘韻さえぬうちに早くも開拓新家庭の主婦として現地入りさせ四ケ月間目前に見守つて來た開拓地の生活に逞しくとけ込まうと云ふのであるが、察ぜられた成績が意外に良好であるのに感心した、張國務總理、于興農部大臣、呂民生部大臣、結城興農部次長、稻垣開拓總局長などの開拓關係者から贈られた書が假表裝のまゝ式場に掲げられそのまゝ花嫁たちへの引出物となることとなつてをり、また當日は新京から開拓總局、滿拓其の他からそれぞれ代表者が列式祝辭を述べるほか

新家庭を作つたのちは花嫁たちが夫君と共々新婚旅行を兼ねて郷里を訪問、内地の開拓への關心をわきたてる計畫も進められてゐる

新年度から厚生館設置本決り

新東亞建設へ力強い歩みを進めてゐる滿洲國四千萬民衆に對する新生活運動の實踐的據點として指導主力を青少年層や婦人層特に母性及び勤勞女性層に向け家長の會、母の會、子供の會を結成させ、徒らに高遠な理想の論議をさけまづ實踐の建前から進まうと民生部が設置を急いでゐた厚生館はいよいよ來年度からさしあたり全滿百十ケ所に設置する民衆教濟館を三年計畫で改組整備する意氣込みのもとに設置されることとなり、早くも康德八年度百六十二萬九千六百圓、九年度二百五十萬六千九百五十圓、十年度三百二萬千百五十圓計七百十五萬七千七百圓の豫算を計上、民生部厚生科存在の意義をこの點に集中しようと意氣込んでゐる

全滿に設置せん

開拓女塾茲に結實

女子義勇隊の先驅とも言ふべき開拓女塾の第一回合同結婚式は當初開拓女塾の成績が各方面から危惧の念を以て見られてゐただけにその結實が高く評價され現在三萬餘に上る青年義勇隊員並に開拓地結婚問題の解決に大きな示唆を與へてゐるが、開拓總局としては既にこの成績を基礎として來年度から全滿に約廿ケ所の開拓女塾の設置を計畫、豫算を提出してをり、また青年義勇隊の結婚問題については懸案の女子青年義勇隊を設置この二本建を以て進むこととなつた、右につき開拓女塾の父とも言ふべき稻垣開拓總局長は次の如く語つた

開拓女塾の話が始まり熊井女史と始めて會つたのは昨年のことですが私はお話を聞いてゐるうちにこれは大丈夫やれると言ふ確信を得たのでいろんな反對を押し切つて當時の開拓總局村川經理科長と相談して補助金を出すことにしたのです、最初心配したことの中で最大のものは果してつれて來た者全部が結婚出來るかどうか賣れ殘りが出來て仕末のつかない者が出來はしないかと言ふことでしたが、實際の成績はそんなことは無用の心配であることが立證されました、開拓團と義勇隊の花嫁問題は喫緊のことで北古洞河の熊谷團長は自分の家に郷里の娘をつれて來て教育しながら配偶させてをり富士見村の樋口團長なども昨年あたりから開拓女塾のやうなものの必要を力說してゐました、總局にも來年度豫算に開拓女塾式の開拓地に隣接した花嫁學校の設置を組み込んでゐますが、これと同時に青年義勇隊の配偶者を養成するため女子青年義勇隊も設置、開拓地の結婚問題はこの二本建で解決して行くつもりです、開拓女塾の花嫁さんたちに贈る書には「開拓四海」「天意暢達」「一花五葉に開く」と書いてやりました

また折柄要務を帶びて來京中の第八次富士見村開拓團(濱江省木蘭縣王家屯)樋口隆次團長はかねてから開拓花嫁學校の熱心な主唱者だけに我事のやうに喜んで語る

滿洲ではいゝと思つてゐることが次々と實現されて行くので全く愉快です、總局の豫算が通つたなら早速私の開拓團の花嫁にも女塾を作つて戴きたいと思つてゐます、將來開拓民の花嫁となる人たちが開拓地の生活を眼前に見ながら花嫁修業をすると云ふ着想は全く素晴しい、これでなくては開拓の妻は出來ません

こちらは廿八組

電々の社内行進曲

火遊びでない限り生めよ殖やせよの國策を尊重して眞面目な戀愛の結實のため社内結婚を奬勵しようと滿洲電々が「不義は御家の御法度」の鐵則を氣持よくかなぐり捨て未婚の男女社員の心臟を朗かに波打たせたのが昨年の十一月十五日だから粹なおふれ發布以來早くも一年、何しろ全滿各支社局出張所を通算すればざつと千箇所はあらうと云ふ未婚青年社員と、二千餘名を數へるタイピスト、アナウンサー、電話交換手などの適齡期のお孃さん方を抱へてゐる同社とて放埒になつてはと本年元日社員結婚媒介所を開設のうへ、まづ新京三ケ所の女子社員獨身寮慰安室にミシン生花道具を置き裁縫、手藝、生花、茶道等々の花嫁講座を開講するなど「電々育ちの娘さんは流石に」の名聲獲得に本腰入れて來たが、さて近く一週年を前にしての高砂や組を各管理局別に拾つてみると最近のホヤホヤニュースとして

新京二、大連三、奉天五、哈爾濱七、齊々哈爾七、牡丹江三、承德一組計廿八組五十六人

を數へ夫婦共稼ぎ、片勤務の別を問はず主人主婦の仕事にはピンからキリまで理解を持ち合つた仲とて何れも公私生活通じて中々の好成績の朗報揃ひに電々當局でも大悅びである

統一の鐘鳴る 新生基督教界

滿洲國國策の一つとして宗教一元化の俎上に在滿基督教も民生部教化科の手によつて上ることになつたが、元來基督教各分派は與導會社の相異によつて居る傳導資金を仰いで出來上つたもので、其の原因が經濟的な問題であり、從來より日本基督教界では各派統一を理想として運動を展開されたことが再三あつたが結局經濟が外國依存である關係上其の分立の原因である傳導資金も支那事變の進捗と共に外國に依存するを得なくなつた現在ではその分立の意義は全く消滅したわけで反つて分立を續けることは外國資金に依存して居た弱小教會を消滅することになり、統合の機運が熟しつゝあつたもので内地では既にその具體案も成り近日中に新生基督教の實現を見る筈であるが、滿洲基督教界の一元化に關する現況を述べるべく、中央通日本基督教會を訪れると、石川牧師は東京で開催中の日本に於ける各派分立解消の最後的會議に出席中であつたが、同教會信者の幹部級では次の如く語つた

元來同じ樣に基督の愛を說きながら各派分立を續けて來たことが間違ひであり、各派を解消一元化することを理想として猛烈な運動の行はれたことも有りますが何分外國依存經濟であつたためそれが實現出來なかつたわけです從來の關係より歸脫を機會として各派を統一建國精神の實現に邁進するのが滿洲基督教界に與へられた任務であると考へます、基督教聯合會長である石川四郎氏が只今東京で開かれて居る統一に關する會議に出席中ですが、歸滿したら具體的な方針も決定すると思ひます【寫眞は統一の鐘なる基督教會】

運動功勞者表彰

【東京國通】厚生省では來る廿七日の明治神宮國民體育大會閉會式に際し多年わが運動界に功績のあつた左の五氏を功勞者として表彰すること になつた

▲磯貝一(柔道)▲高野佐三郎(劍道)▲水井道明(體操)▲中沼蕃三(體協)▲末弘嚴太郎(水泳)

野球組合せ決定

【東京國通】神宮大會野球競技出場チームならびに組合せは廿三日左の如く決定した

△第三日(廿九日)中等一回戰=D島田商對市岡中、一般準決勝=懸倉對大連、大學二回戰=明大對專修勝者對關大、高專準決勝=高知高工對橫濱高商

△第四日(卅日)中等準決勝=Aの勝者對Bの勝者、大學準決勝=Cの勝者對Dの勝者

△第五日(卅一日)中等準決勝=Cの勝者對Dの勝者、大學準決勝=Aの勝者對Bの勝者

△第六日(十一月一日)高專決勝、一般決勝

△第七日(二日)中等決勝、大學決勝、閉會式行事

あす菊花即賣會

都大路にも木枯が吹きそめて

海拉爾忠靈塔建設獻金

△十月廿二日迄の分廿七萬三千三百二十七圓卅八錢
△十月廿四日受附　三十圓三十九錢
△合　計　廿七萬三千三百五十七圓七十七錢
△獻金受附場所　新京關東軍司令部内財團法人忠靈顯彰會(休日を除き九時より十六時迄)(振替口座新京二四三三番)

河相公使離滿

本省の歸還命令に接して歸國の途にある河相無任所公使は廿四日大連出帆日滿連絡船うすりい丸で神戸に向つた

樂燒待合に茶室

去る十二日店開きした國都の新名物「樂燒亭」は湯呑小八十錢▲同大一圓▲蓋付一圓廿錢▲抹茶茶椀二圓五十錢▲銘々皿一圓五十錢のほか椰留、付出し皿などの時節注文に應じ牡丹公園を訪れる者の人氣を集めてゐるが市公園科では更に「樂燒亭」の情緒を深め待合所に數奇をこらした茶室を作ることゝなつたこの茶室には從來京都市に材料を仰いでゐた茶室道具を廢して新京近郊から集めた國都色たつぷりな材料による茶道具を備へつけ一般に開放するもので靜かにお茶を立てながら樂燒の出來あがるのを俟つといふ滿洲には一寸變つた趣向が考慮されてゐる

さあ焚けるぞ

あすから採煖期間

不時のペスト禍に備へた市公署が二十六日の採煖開始日を十日間早めて「十六日以後嚴寒の日は採煖勝手たるべし」とには些かも搖ぎなく旬日に亘つて賴もしい自重振りを續けて來たが、零下二度一にまで氣溫が低下し粉雪さへ散らつき始めた二十四日には流石に大同大街のビル街で黑煙が立昇り全市は愈よ本格的採煖期の狀態を呈して來た、この日市公署に石炭配給の苦勞の親牧山商工科長を訪れると「愈よ焚き始めましたねえ」と感慨深げに冒頭して左の如く語つた

度々言つたことで今更改めて言ふ必要はないと思ひますが、市民は呉々も石炭を有効に使つて戴きたいと思ふのです、若し査定に事務的な間違ひがあれば申告次第修正して標準量だけは直ぐ配給しますが、その反對に虛僞の申告をして標準量以上の石炭を使つてゐる家は發見次第一定の期間配給を停止します、從つてその樣な家庭が若しあれば自發的に申出て戴きたいと思ひます、それから今年は少し炭質が落ちますから充分各家庭は採煖器具に注意して出來るだけロスを少くするやう御注意をお願ひしたいと思ひます【寫眞は焚かれ始めたボイラー】

安達街小賣市場 一月に營業開始

總工費十一萬圓を以て市公署建築科が去る四月から市内安達街に建設中の市營小賣市場は目下その六分通りの工事を終り遲くも本年一杯には完成の見込みで來年一月から營業を開始することゝなつたが同市場は敷地八百平方米、廿店舖を收容して生活必需品を販賣するものである

房産住宅割當近く決定

國都建設局及び市公署厚生科では嚢に本年度完成見込みの房産住宅の割當を行つたが、その後住宅の建築も以外にはかどり豫期以上の數に達する見込みもついたので廿四日改めて各官廳、特殊會社及び準特殊會社への割當數を協議、來週早々住宅委員會を開催して最後の割當を決定することとなつた

近頃のスキ燒難

何とかしようと乘出す首警の親心

冬の味覺の王者スキ燒が嚴寒來とゝもにいよいよ食卓を賑はさうといふとき、牛肉公定價格をめぐる一悶着が惹き起つた、この二、三日前から市内の精肉業者の手に牛肉が入らないのと販賣價格がはね上つたゝめ市民の不平はひとかたでないが、この反面に首警當局では昨年四月精肉の認可料金を

小賣はロース一斤九十錢、上肉八十五錢中肉七十錢生體業者から精肉販賣組合に入荷する生體一斤を七十錢

と規定して置いたにかゝはらず精肉業者では上肉をロースに、中、並肉を上肉としてロースを一圓十錢、上肉を一圓といふ公定價格無視の販賣をなして居り、その理由として生體商人から組合への卸値一斤七十錢が最近九十錢に値上りしてゐると申立てゝゐる事實があるので首警經濟保安股では假令生體の價格が上つたにせよ認可料金の無視はけしからぬと一兩日中に業者に糺明するとゝもに市民の臺所に手輕に牛肉が入るやうにとの親心から商工公會、市公署側と協議、適當な値段改正を考慮することゝなつた

△經濟保安股勝目警正談=從來の認可料金では牛肉が國都に入荷出來ないため業者側では生體價格の値上げを決行したものだが、認可料金があるからには無視してやるのはいけない、取締當局に一應の相談があつてもよいことゝ思ふ、この際市内精肉業者を徹底的に取締ると共に牛肉がいつでも安價に市民の臺所へ入るやうにつとめたい

休校が明ければ 特別時間で補講

各校で適宜の處置

ペストの猖獗を豫想し萬一の場合を考慮して去る十四日から新京日本人學校組合が斷行した三笠、室町、西廣場、八島の四校の休校(三笠校のみは十二日より休校す)は時宜を得たものとして各方面の贊同を博してゐるが、ペストの終熄が豫想され開校を目前に控へた現在に於ては之等休校兒童を如何にすべきかの問題が改めて擡頭し父兄達の注目を集めてゐる、右の問題に關し新京特別市日本學校組合主事佐藤眞一氏を訪へば「既に關屋學校組合長の名において休校各校に對し之等のことは總て〃學校長に實行を一任す〃と通牒を發してあります」と冒頭して左の如く語つた

學校長に實行を一任すとした以上は各學校に於て夫々適當な處置が講ぜられることゝ思ひます、原則として各校共毎日毎日の授業時間を設定し休校期間中の補講を行ふことになつて居ります、ただこの場合私達の最も懸念する處は遍歸區域内にゐる兒童達に對する一般生徒達の態度ですが、滿洲に於ては比較的さう言ふ點が明朗に運ばれるので案じる程のことはないと思つては居ります と一般家庭に於てもこのことを考慮して貰ひたい旨を附加へた

聲の爭覇戰

マイクで唱歌大會豫選

在滿日本教育會及び電々放送部共同主催のラヂオによる紀元二千六百年奉祝全滿女子中等學校合唱大會北滿地方豫選は二十七日日曜日午前十時より新京、齊々哈爾、哈爾濱、牡丹江各地女學校生徒により各放送局のマイクを通して擧行される、課題曲は武内俊子作詞、下總皖一作曲の「うるはしの朝」であるが他に各校一曲づつ隨意曲を歌ふことになつてゐるがその曲目は次の通り

「ひばり」(メンデルスゾーン作曲)齊々哈爾高女、「あかがり」(日本古謠、信時潔編曲)哈爾濱高女「忠臣」牡丹江高女「川」新京敷島高女「霜の月」(ボヘミア民謠、旗野十一郎作歌)新京錦ケ丘高女「二ツの冊」吉林高女

尚ほ午後一時より新京中央放送局より紀元二千六百年奉祝全滿兒童唱歌大會新京地方豫選が行はれるが課題曲は日本放送協會撰定、深澤大二作詞の「紀元二千六百年小國民唱歌」で隨意曲は次の通り

新京三笠尋小「朝日は昇りぬ」新京室町尋小「いてふ」同東光尋小……

奉祝文繼走

【東京國通】全國各道府縣長官の紀元二千六百年ならびに第十一回明治神宮國民體育大會奉祝文を携へて、東北、北陸、茨城、千葉、東海道の五幹線繼走團は神宮大會開會式當日の廿七日午前十時明治神宮内苑神宮橋に一齊に到着、待ち受ける各道府縣代表一行五十一名ならびに繼走團員十名を以て奉祝繼走團を編成、直ちに明治神宮を參拜したのち外苑競技場開會式典に至り堂々中央に行進をおこして岡田東京府知事に五十一の奉祝文を手交してそれぞれ各府縣所屬隊列前に整列しかくて奉祝文は岡田東京府知事によつて朗朗と捧讀された後金光厚相を通して總裁宮殿下に捧呈される筈である

對日木炭を增加

日本の要請に基く對日供給木炭の數量については過般林野局より關係官が東上日本側と折衝、目下の供給餘力を大體七十萬俵見當と押へ明年一、二月迄に供給する滿洲產木炭は七十萬俵(一萬トン)と決定したが、その後調査の結果滿洲國側よりは何二、三十萬俵の追加供給も可能と見られるに至つたので、協定に拘泥せず可能なる範圍で送出することとなつた、現在の見込みでは供給能力としては一萬二千トン、卽ち百萬俵見當のものが送り出し得べく、從つて協定に比しては約卅萬俵見當が增加供給されることゝなるのであるが、國資金獲得の觀點よりも、滿洲國における製炭能力の餘剩の點よりも製炭事業を積極化すべく明年度以降における木炭增產計畫について林野局では鋭意研究を進めることゝなつた

首都料理店組合

自肅體制で新發足

國都歡樂街の自肅新體制に即應する各組合の合同は嚢にカフエー業者及び三業組合業者とそれぞれ新組合を結成したが、續いて大新京料理店組合、新京料理店組合、南新京料理店組合の三組合を一丸とする新組合の結成は諸般の準備なつてきのふ二十四日午後一時より記念公會堂に於て岡田首警保安股長列席の下に擧行した、名稱は〃首都料理店組合〃役員は左の如くである

組合長波田猪平氏(梅の家)▼副組合長小西満次郎氏(三浦屋)▼會計田中末吉氏(日光樓)▼評議員菅沼四郎氏(上州樓)田頭坂治氏(君の家)原潤一氏(待月)河本甲嗣氏(朝日館)紅矢仁七郎氏(鶴)奈良安藏氏(一樂)濱崎俊氏(上海館)田中軍左衞門氏(乙女)

なほ今年限り東京大學リーグ出場チームを五チームとすることゝなつた

△第一日(廿七日)開會行事廿五チーム參加大學一回戰=明大對專大、中等一回戰=A海草中對松本商、B福岡工對岐阜商

△第二日(廿八日)大學二回戰=B早大對中大、C法大對東大、D同志大對慶大、中等一回戰=C京都商對早實、一般準決勝=全京城對八幡、高專準決勝=山口高校對西南學院

中國舞踊の進出

北京内三區大佛寺にある中國青年演劇舞踊協會は主任教授景女上夫氏の下に演劇部舞踊部合せて七十名の陣容を有してゐるが、近く女子部八名、男子部二名が内地一流劇場へ進出して中國舞踊を紹介することゝなつた【寫眞はその舞踊の一場面】

西廣場尋小「夕の星」同大尋小「進水式」同順天小「入營を送る」同白菊高

「萬里の長城」同室町尋高「羅」同永樂尋高「星の世界」同八島尋小「朝讀」吉林陽明尋高「太平洋」新京

この王座を奪ふ菊花もあの氣品、花をわが滿洲の樂土にさかせる候となつた、市公署公園科では二十六、七の兩日兒玉公園の溫室に之等の花を陳列して即賣會を行ふが、更に來月の二日、三日には三中井五階のギャラリーに展覽會を開催し、公園科自慢の菊花で國都人士の目を樂しませることになつた

梅輯線に景勝地

「滿洲にもこんなに美しい所があるぞ」と未だ知られてゐない奥地地方の景勝を探し觀光滿洲に異彩を加へんと吉林鐵道局旅客係では新設の梅輯線、梅輯線沿線の景勝地帶を物色中であつたが、この程梅輯線五道溝驛から三十八キロの奥地に鏡泊湖以上といふ山紫水明の地「望湖臺」を發見、早速吉鐵では去る十九日旅客係員一名を調査員として通化に送り、ここで八十名からなる探勝團を組織して現地望湖臺に入つたが、調查員の歸局をまつてその成績如何で大々的に宣傳に乘り出すこととなつた

馬車洋車の淸掃

新京乘用馬車洋車組合では國都ペスト禍の防疫のため自發的に廿四日から二日間日本橋寶山前驛前の三箇所において馬車、洋車の大消毒を行つた

片野少將逝去

【東京國通】豫備役陸軍少將片野定見氏は廿二日午後四時マラリヤ病のため東京市杉並區和泉町の自邸で逝去した享年五十五

少將は昭和十二年支那事變勃發後間もなく部隊長として出征北、中、南支各戰線に活躍、特に徐州會戰で偉勳を樹てこの間に病魔に冒されたが高粱殼を敷いた荷車の上で部隊の指揮に當つたことは當時傳へられた佳話だつた、十四年七月少將に進級某重職に補せられて赴任の途中病のため歸還同年十二月豫備役仰付られ爾來自宅で療養中であつた

西川光二郎氏

【東京國通】社會運動の先驅者西川光二郎氏は去月北海道巡講の途次發病療養中廿二日午後十一時急性腦膜炎にて杉並區阿佐ケ谷一ノ六八八の自宅において逝去した、享年六十五

七つの窓

前屈み、手をうしろに腰の上で組んで歩いてる、知らず識らずあゝなるんだねやつぱり年は爭はれないものさ、尤もこの春にやお孫さんがうまれたんだからなんてひやかされた公會堂書記長眞殿さん

×

復興途中の建物を始終見て廻り、鏝工式の濟むまでは特に床や壁を汚したり傷づけたりせぬやうにと、まるで年頃の娘をもつた親父のやうにきびしい監視の眼を光らしてゐた

×

ところへ今度のペスト騷ぎ公會堂は防疫資材の集積や配給でめちやくく、他の事と違つて眞殿さんも觀念の眼をつむり、敷島區事務所に陣取つて大童の活動、孫のある人のやうでもなく元氣なものだと父噂の種となつてる

天氣と溫度

けふの天氣　西よりの風稍強く晴時々曇
きのふ　高　三度八
溫度　低　零下三度七

速に昨日の夢を捨て 新しき世代に生きよ 鍛へ直す銃後精神

婦人評論

支那事變勃發以來既に三年を經た今、革めて新體制といふ言葉を、行を、政府が先達となつて唱へなければならぬ所に何か矛盾がありはしないでせうか、新しき世代の女性はこのことにもつと注意を拂つて然るべきではないでせうか、政府が統制經濟を布き續いて今年

奢侈 禁止令が發令され、尚ほ又政府の提唱として金の買上げをすると社會民衆へ傳へるに至つたこの道程の中に何か含まれ意味されてゐるかを私共女性は知らねばならないのではないでせうか

……◇……

銃後の國民が、老幼男女一丸となつて前線の將士に後顧の憂ひなからしめるために額に汗し、手にマメを拵へつつ雄雄しく立働いてゐる日本內地の人達、さうした人々に又熱い誠を盡す

異郷 の私共、共に燃ゆる祖國愛に變りはない筈です、然しこゝに至極呑氣といへば語弊がありますが、身に滲みないやうに考ふべきことは異郷にある人達は兎角に日本內地の切實さを目の當りに見ないためか、思はれます

……◇……

假に新京の街角に立つて行き交ふ人達を眺めませうか、中斷髮を縮らし結ぶでもなく、には赤く染めさへして、赤いリボンを飾り、和服ならば一巾模樣の

華美 な色彩、洋服ならば身につかうとつくまいと新流行のデザイン、指には黃金の輪の二、三本もはめて金の腕時計、かうした女性が喫茶店に、映畫館に或はデパートに、カフエーに働く人達に氾濫してゐて、洵に新京は閑な女性の多いことゝ目を瞠らざるを得ないのです、さしづめ東京ならば、一人殘らずカードを渡される人々ではないでせうか

……◇……

異郷にあればこそ、先づ女性が率先して統制經濟の範に入り、政府が提唱する迄ゝもなく

質素 儉約を旨として金に代ふべきものは國へ獻納して、大和撫子の意氣茲にありと、日本女性の健氣さを示すべきではないでせうか、云はれなくとも自發的に行動するのが新世代の女性の義務ではないでせうか滿洲を以て行ひ自然の中に滿鮮人達に訓へるところがあつて然るべきと思はれます

……◇……

今年の夏以來在滿青年の操行問題が喧しく取り上げられ青年團、或は自興隊と次々に模範團體が生れつゝあります、併しこれは青年達の行動は兎角

表面 に現はれ勝であるためにかうした社會問題となつたのでありますが、一方女性を考へますと、潤こそ飲まね、浪費の點に於ては青年に讓らぬものがあると聞きます、新京にも國防婦人會があり數多くの仕事をしてをりますが、若い女性として願ふことは、國防婦人團體內の一分隊を官房、會社デパート等夫々に作つてもつとく社會に呼びかけ、或は常時マサカの時であるのです

……◇……

息吹 きしてゐる女性はローマンチックな生溫りの知識から解脫して質實なる思想を抱くべく努力しようぢやありませんか、日本女性ですものまさかの時にはとよく聞きますが現在は同志が戒め合ひ、向上しなければならぬ點がありはしないでせうか

……◇……

本當の新體制はかうしたところから生れるのぢやないかと思はれます、只政府の指示のまゝに動いてゐるのでは、新世代の女性として餘りに情ないと思はれます

街頭 に立つてカードを渡す程のことはしなくとも、今少し緊張した態度なり、行動を執つて欲しいものです、而して新興滿洲國に有形無形に何等かの生產をなし得たら、消費都市新京の品格も上りませうし、朗らかな本當の新體制を把握出來るのぢやないかと思ひます

……◇……

サラリーを貰つて使つて終ふことは誰でもするのです、現代都市に

家庭

古びた毛糸編物 毛糸やスコッチで編んだシャツ・靴下などの古くなつて破れたものは、きれいに洗つてからほどき、御飯蒸器に入れて蒸すと、フックリした新しい毛糸になります、しんが弱つてゐるものは二本いつしよにして、腹卷とか、肩包みなどにすると結構保溫の役に立ちます

固つたニカハ ニカハが乾燥して固まつた時は、グリセリンを數滴その中へたらしておくと軟かくなつて再び使へるやうになります

齒の生える頃 赤ちゃんの榮養
九ヶ月目にはお粥を

赤ちやんも七、八ケ月になると可愛い齒が下から二枚生えて來ます、此の頃になると今までお乳ばかりでよかつた榮養の方法も多少變つて來なければなりません、それを不注意に今まで通りにお乳ばかりを與へてをりますと、折角今日までスクスクと大きくなつて來た赤ちやんの目方が急に增さなくなり、筋肉もしまりがなくなつて來て、こんな狀態のとき病氣にでもかゝると重くなりますから特に注意せねばなりません、そして一度罹つてからではいざ他の榮養を與へようとしても大層むづかしくなり結局いつまで經つても離乳は出來ず、そのため困難するやうな結果になりますから、衞生ボーロのやうな手輕で安全なお菓子をおやつ代りに一つ、二つ一日二回位お乳とお乳との間に與へてゆくやうにいたします、さうして八ケ月の終り頃から九ケ月目に入つたら是非ともお粥を始めねばなりません、お粥と

いつても赤ちやん向きのものを工夫してやらないと、おなかをこわす原因となりますから注意が肝督です、次に手輕に出來る赤ちやん向きのお粥の作り方を申上げませう

◇……ご飯から作るお粥 ご飯を少し、これに多目の鰹節のだし或は野菜スープを加へて弱火で氣永に、舌に載せればとろける位にまで煮て、それに食鹽と味の素を加へます

◇……つぶし粥 つぶし粥は丈夫な赤ちやんでしたら七ケ月に入つたら間もなく始めてよいのです、作り方は前の晩にといでおいた白米を盃で平に一杯、あたり鉢ですつかりつぶし、これと同じ盃で約二十杯の水を加へながら適當な大きさの土鍋に移します、これを弱火で約三十分間ときどきかき廻し乍ら煮て、出來上つたら鹽少々と砂糖三匙位を加へます

出さかりの栗
ビタミンBが豊富
いろいろな食べ方

生栗が出廻つてをります、栗は甘美な味とビタミンBを含みおやつにはもつて來いのものです、次に栗の皮の上手なむき方と美味しいいろいろな食べかたを考へてみませう、▲鬼皮のまま一晝夜水にひたし、次に鬼皮を剝いで水にひたします▲水一升に對し合成鹽酸一勺の割の水を瀨戸引鍋で沸騰させ、この中で五分間位沸いたしますこの液は使用後も保存しておけば二、三回使用することが出來ます▲別の鍋で沸騰した水の中に栗をすくひ上げ、水をさして此の中で澁皮をむきます▲更に形の崩れを防ぐために燒明礬を一握りほど入れたお湯の中で二分間煮沸します▲水一升に曹達灰四十匁の液に入れて沸騰させ鹽酸と明礬を中和させます、此の液は共に保存がきゝます▲最後に水洗ひを致します、以上でよろしいのです、一寸複雜な手數をかけるやうですが、材料さへ揃へておけば順序よく出來ますし、費用も十錢程度です次は美味しい食べ方ですが、粉にしてメリケン粉をまぜてつくると食味高い栗パンとなり、小豆と一緒にすれば栗羊羹、又、栗キントン、栗飯、栗粥等いろいろ利用出來ます、又栗せんべいの作り方は、澁皮をすつかり取つた栗を五十粒位すりつぶし、お鹽小匙に一杯半を加へてよく混ぜ、これを燒けた鐵板又はフライパンの上にせんべい型に置いて燒くのです、そしてよくさましたものゝ藏きます

衞生
胃酸過多症

胃酸過多症は多く中年の人に見られる胃腸病の中で最も多い病氣です、原因は食事に不攝生な者が罹り、胃カタル、神經衰弱、ヒステリー等の病氣に伴つて起ることがあります、症狀は食後二、三時間して胃に痛みが起りその際水を飲むとか一寸物をたべたりすると却つてよくなり重曹のやうなアルカリ劑を服むとケロリと痛みを忘れてしまふといふのがこの病氣の特徵です、これが段々昂じて來るとゲップがはげしくなり、吐氣を催し、酸つぱい液が出絕えず胸騷がしたりしますが、食慾には變りがありません、この症狀が長く續くと身體が次第に衰弱し體重が目立つて減つてゆきます、そして酸の刺戟のため胃の粘膜に變化が現はれて糜爛や潰瘍等の障害が起つて來ます

療法としては先づその原因を取除くことが肝要で最も大切なことは食物の注意であります、それには一般に刺戟性のない、且つ纖維や殘滓の少いものを選びこれを柔かく煮て篩いたもの、粥又は裏ゴシにかけたもの、熱すぎず、冷たすぎぬ食物などが最も適してをります、卵の白味、牛乳、白味の魚、バタ、クリーム等はよろしいが胡椒、芥子、山葵、生姜、酢の物、酒、鹽辛いもの、コーヒー、肉類から作つたエキス、スープ等は絕對に避けねばなりません、又果物では梨、林檎等は煮てたべる必要があります

婦人隨想
冷たい溫度にも强いばい菌

冷藏庫の中ではいろんな細菌が殺されてしまふやうに思ふのは全くの素人考へで、實際は普通のものでは細菌が繁殖しにくいといふだけで殺菌力はありません、血液强度を最適とするコレラ菌、赤痢菌、腸チフス菌、結核菌、痘瘡病原體等の病原菌を氷室內に入れてその生存期間を試驗したところによると、攝氏九度から三十度位になると發育が障害せられ、それ以下の低溫になると發育不能にはなりますが、それでも中々死なないことが判りました、それで普通の腐敗黴菌を絕す外氣中に多く存する低溫菌類は尚更生存期間が永く、普通私共の家庭で使つてゐる攝氏十度位の冷藏庫はあたかも黴菌を生かして永く保存しておくのに都合のよいものであるといふことが出來ます、事實研究室などでは菌株を培養して氷室內に保存し、必要に應じて取り出して培養器に移し、孵卵器溫度に置いて盛んに發育させていろいろな實驗や材料にして困るのです、某水產試驗所で魚肉の分解と溫度の關係を試驗してみましたところ、細菌及び酵素の作用は攝氏零度でも十五日間では著しく變化を示してをりました、このやうに考へてみると完全な冷凍設備方法は腐敗を防止しますが月並の冷藏庫は實際は「冷藏」といふに過ぎないといふことを心得ておかねばなりません（增山ひさ子）

☆☆冬仕度☆☆【1】

ラヂオ

あさ

七、〇〇（新京）建國體操、天氣豫報
七、一八（大連）入港船のお知らせ
七、二〇（新京）早朝講話・滿洲に於ける日滿先覺者の思想「三崎山をめぐる金州六烈士を偲ぶ」二　建國大學教授　岩間　德也
七、五〇（大連）初等滿洲語講座　幸　勉
八、二〇（新京）氣象通報
八、二五（新京）朝の音樂（レコード）（一）フルート獨奏　一、舊西歌調による變奏曲（ボーム作曲）二、牧歌（ゴダール作曲）モイーズ（二）ヴァイオリン獨奏　一、インドの歌（コルサコフ作曲）二、ロンドンデリーの歌（クライスラー作曲）三、美しきローズ・マリー（クライスラー作曲）四、愛の歡び（クライスラー作曲）クライスラー
八、四五（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東、奉）經濟市況
九、五〇（新京）幼兒の時間　ウタノオケイコ「コンニチハ（ヘイタイサン）」二（富原薰作詞、桑原哲郎作曲）　吉田　牧江
一〇、〇五（大連）家庭メモ
一〇、一〇（大連）料理獻立
一〇、二〇（哈爾濱）家庭の時間「實用向の防寒具」

ひる

一〇、四〇（新京）食料品値段　榎本　清
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（奉大）經濟市況
〇、〇五（大阪）日本樂器による管絃樂
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇五（東京）經濟市況
一、五〇（奉大）經濟市況
二、五五（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間「此頃のニュースから」
三、二〇（東京）經濟市況
三、三〇（東京）教師の時間「授業實況」＝東京市赤門小學校より中繼＝（指導東京市視學）　五味　義武
四、〇〇（東、新）ニュース
四、三〇（奉大）經濟市況
五、三〇（新京）室內管絃樂　一、行進曲正義の皇軍（小畑澤四郎作曲）二、幻想曲「時計屋の店」（オルト作曲）三、小川のほとり（モールス作曲、大塚淳編曲）四、圓舞曲風の結婚（ホール作曲）五、扶桑歌（トベニー作曲）　新京室內管絃樂

よる

六、〇〇（哈爾濱）子供の時間「仲よし音樂會」＝日滿兒童による＝白樺コドモ會、哈爾濱南崗國民學校生徒、哈爾濱第一普學學校生徒
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（大連）趣味講演「戰時の個人生活」　井上　騏二
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントトピックス
七、〇〇（東、新）ニュース　告知事項、今晩の番組
七、三〇（東京）國民歌謠　頌歌「靖國神社の歌」（陸海軍省選定）（指導）城多　又兵衞（合唱）日本放送合唱團（伴奏）東京放送管絃樂團
七、四〇（牡丹江）講演「國境東滿の實相」　牡丹江省次長　向野　元生
八、〇〇（東京）吹奏樂　一、奉頌歌靖國神社の歌（陸海軍省選定）二、歌劇セビリアの理髮師序曲（ロッシーニ作曲）三、組曲白鳥の湖（イ）圓舞曲（ロ）白鳥の踊（ハ）ハンガリア舞曲（チャイコフスキー作曲）四、行進曲海を渡る荒鷲　海軍軍樂隊（指揮）隊長　內藤　淸五
八、三〇（東京）連續小說「馬」下（山本嘉次郎作演出）德川夢聲、竹久千惠子、高峰秀子他（解說）飯田アナウンサー（伴奏）東京放送管絃樂團（作曲並指揮）伊藤昇
九、〇〇（東京）時事解說
九、三〇（東京）ラヂオスケッチ
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

婦人と子供の時間

（前九・五〇）幼兒の時間、ウタノオケイコ「コンニチハ（ヘイタイサン）」（一〇・〇五）家庭メモ（一〇・一〇）料理獻立（一〇・二〇）家庭の時間「實用向の防寒具」（一〇・四〇）食料品値段（後三・〇〇）婦人の時間「此頃のニュースから」（六・〇〇）子供の時間「仲よし音樂會」＝日滿兒童による（六・二〇）コドモの新聞

列車時刻

【發】

▼奉天方面行▲
大連行 急 三・三〇
奉天行 六・三五
釜山行（ひかり） 七・四〇
奉天行 八・四五
大連行 急 九・三〇
營口行 一〇・三〇
四平街行 一一・二五
奉天行 一三・〇五
大連行（あじあ） 一四・一〇
大連行 一四・三〇
四平街行 一五・三五
大連行 一六・三五
釜山行（のぞみ） 一七・五九
北京行 一八・四五
四平街行 一九・四〇
大連行 二二・四〇
大連行 急 二二・五五
大石橋行 二三・三〇
奉天行 二三・五五

▼哈爾濱方面行▲
哈爾濱行 急 四・〇八
德惠行 五・一五
哈爾濱行 急 六・三二
哈爾濱行 八・〇五
哈爾濱行 九・二五
哈爾濱行 一三・二〇
哈爾濱行 一五・〇〇
哈爾濱行（あじあ） 一八・〇五
德惠行 一九・三〇
哈爾濱行 二二・四〇
牡丹江行 二三・五〇

▼圖們方面行▲
吉林行 六・五五
羅津行（あさひ） 八・〇〇
圖們行 九・〇〇
吉林行 一三・一五
清津行 一五・二五
吉林行 一九・一〇
羅津行 二三・二五

▼白城子方面行▲
白城子行 七・一五
前郭旗行 一七・一〇
白城子行 二一・〇〇

【着】

▼大連方面より▲
大連發 急 三・五八
奉天發 六・二二
大連發 急 七・三七
大連發 七・五〇
大石橋發 八・〇〇
四平街發 九・四六
四平街發 一〇・四九
北京發 一一・五〇
奉天發 急 一二・四五
釜山發（のぞみ） 一三・二〇
大連發 一四・五〇
大連發 一六・四〇
大連發（あじあ） 一七・二〇
營口發 一九・〇五
大連發（はと） 二〇・〇五
奉天發 二〇・一五
四平街發 二一・一五
釜山發（ひかり） 二二・一六
奉天發 二三・二九

▼哈爾濱方面より▲
德惠發 〇・三五
哈爾濱發 三・一八
牡丹江發 六・一八
哈爾濱發 七・三〇
德惠發 一〇・五七
哈爾濱發（あじあ） 一二・五七
哈爾濱發 一四・〇〇
哈爾濱發 急 一六・五一
哈爾濱發 二〇・〇〇
哈爾濱發 二三・三〇
哈爾濱發 二三・四五

▼圖們方面より▲
羅津發 八・四二
吉林發 一一・〇四
清津發 一四・二六
吉林發 一六・三六
圖們發 二〇・五〇
羅津發（あさひ） 二三・一五
吉林發 二三・四一

▼白城子方面より▲
白城子發 九・一七
前郭旗發 一三・二〇
白城子發 一九・〇五

出船入船

大阪商船出帆
うすりい丸 十月廿四日
さんとす丸 十月廿六日
熱河丸 十月廿七日
扶桑丸 十一月二日
らぷらた丸 十一月三日
門司、神戸行（午前十一時大連出帆）
三角 鹿兒島那覇行 午後二時大連發
事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビューローで連絡切符發賣

日本郵船株式會社 大連、長崎、鹿兒島航路
大連行淡路丸 鹿兒島發 長崎發 大連着
十月廿日 廿一日 廿四日
十一月一日 二日 五日
鹿兒島行淡路丸 大連發 長崎發 鹿兒島着
十月廿六日 廿九日 卅日